京城日報

二十一日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　△一部金二錢五厘　△一ヶ月金五十五錢
發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
電話　編輯　營業

露防禦全力傾注

露國政府は總ての政策に關する問題の解決を延期し國家の防禦に全力を傾注する事に決定せり首相ケレンスキー氏は總司令部に軍事會議を開き陸、海、外務の三大臣、司令官アレキシーフ將軍、新駐佛露國大使ラクラコフ氏參列專ら陸軍戰鬪力の增加に就き協議したり（倫敦電報）

露政府轉移決定

露軍は芬蘭灣頭のレウェルを撤退し露都ペトログラードは戰鬪地帶に入るを以て露國政府は莫斯科に轉移するに決せり（倫敦電報）

レウアル住民避難

露都來電＝レウアルの撤退は本月十六日に始まれるが敵軍上陸の危險あるを以て住民の大部分は内地へ避難せり（倫敦電報）

對敵通商法實施

大統領ウヰルソン氏は對敵通商法を實施せるが同法は敵國並に其同盟國との通商は其種類の如何を問はず一切禁止し且つ郵便電信及び無線電信に對し檢閲を行ふものなり（紐育電報）

獨立軍衡山奪還

湖南よりの急報に依れば獨立軍は廣西より援軍を得て一旦北軍の手に占領されし衡山縣を奪還せり（北京特電）

王芝祥廣西派遣

馮總統は前廣西按察使にして陸榮廷と親交ある陸軍上將王芝祥氏を調停者として廣西に派遣することに決し天津に在る王氏に出京を命じたり（北京特電）

督軍都統の更迭

吉林督軍孟恩遠氏は盛威將軍に任せられ齊々哈爾都統田中玉氏吉林督軍に鮑貴卿氏は齊々哈爾都統に任せられたり（北京特電）

憲政會關西大會

憲政會關西大會は二十一日大阪ホテルに於て開會加藤總裁以下武富、尾崎、島田、安達、江木、下岡氏等出席決議及び宣言可決の後加藤總裁の演説あり閉會せるが二十二三の兩日大阪神戸に於て演説會を開く豫定なり（大阪特電）

小平運輸課長渡鮮

西部管理局運輸課長小平保藏氏は關釜連絡船に關する用務を帶び廿一日夜下關發釜山へ向ふ筈也（門司特電）

美濃部總裁通過

美濃部鮮銀總裁夫人令孃及び秘書役付稻安輔子は二十一日朝來釜さくら丸にて東上せり（釜山特電）

城法院長着發

京城覆審法院長城數馬氏は二十一日朝釜山通過東上せり（釜山特電）

矢鍋關稅課長

總督府關稅課長矢鍋永三郎氏は二十一日朝釜山着の新羅丸にて著釜稅關事務視察の上午後十一時發列車にて京城へ向ふ（釜山特電）

吉長改約由來

吉長鐵道即ち吉林府より長春府に至る鐵道資金の半額は明治四十年四月十五日林公使と前清外務部大臣那桐瞿鴻機唐紹儀等との間に協定したる新奉及び吉長鐵道に關する

△協約第二條 により南滿洲鐵道株式會社より借入るゝ事と定められ其借款還濟期限は二十五箇年とし吉林鐵路局自辨の商股及び南滿洲鐵道會社よりの借款は共に該鐵道財產及び收入を以て擔保となし清國政府は該借款未濟以前に於ては右鐵道財產及び收入を以て他の借款の擔保を爲すを得ざるは勿論當該鐵道建物工場車輛用地財產等を善良に經理し且隨時車輛を增添し運輸の須要に應ずるに努むべく將來吉長鐵道の支線を添設し或は該鐵道を延長する場合に於て資金に不足を生ずる時は

△會社に向て 借入を申込むべしとなし借款の元利は共に清國政府に於て保障し若し元利金の支拂期に至り約の如く履行せざりし時は會社の通知に依り清國政府より須要の額を撥じて會社に代還すべく萬一右通知の後に於て清國政府に於て仍ほ延滯に屬する元利の還濟をなす能はざる場合には當該鐵道及び一切の財產は右元利支拂に至るまで會社に引渡して代つて經營を行はしめ不足の元利少額なるときは三箇月を逾わざる範圍に於て猶豫を與ふることゝせるが借款期限中技師長には

△日本人を用 ひ鐵道事務に要する滿國人不足の場合には日本人を參用すべく技師長を更迭する必要ある時は會社と協議の上にて之れを行ふべく又鐵道會計役として日本人一名を用ふることゝしたるが更に明治四十一年十一月十二日其細約を訂結し該鐵道の借款契約を訂立する爲めに必要なる取極事項を補足したり之に據れば南滿洲鐵道會社より清國政府に貸與する吉長鐵道敷設資金は日本貨幣二百十五萬圓にして借款の年五分借款の實收價格は百圓に付九十三圓とし其技師長及會計主任には日本人を用ゆべく

△其任用方法 は技師長は清國政府より適當の人物を選び南滿洲鐵道會社に協議の上清國政府之を任命し會計主任は南滿洲鐵道會社より推薦し清國政府之を任命し其交涉を要する場合に於ては協約の規定に依り南滿洲鐵道會社と協議の上同じく前記の手續により任命を行ふものとし[illegible]

文展出品畫　春　（四季花鳥の内）　秋
審查員荒木十畝筆

滯貨如何

昨年程は無からん

朝鮮各地も新穀の出廻り期に入れるが本年の滯貨如何あるべきかに付某有力當局者の觀測する所を聞くに恐らく昨年の如く各驛に

△非常の堆積 を見る事はなからん何となれば（一）昨年の滯貨より來れる損害に懲り本年は荷主の何れも海陸運輸力の測定をなし貨物の託送をなすべしと信ぜられつゝあり之れ各驛の出貨を大に整理すべし（二）昨冬は甚だ振はざる穀價が出穀時に際し急に氣配を持ち來れるため農場經營者並に米穀商人は一時に其の賣出しをなし從つて内地移出米は決河の勢を持したり然るに本年は昨年に比すれば約二倍の穀價を保ち前途も又決して弱氣見込みならずこれ商人及び農者に

△賣惜しみ を來すべしと信ぜらるゝ所以穀類相場の情勢は昨年と全く異なり居れるなり（三）本年は朝鮮の荷主も運輸業者も前年の滯貨騒ぎに閉口し夙に船腹の準備をなし又輸送力不足なれば其の旨を一般に周知し居れり之れ貨物の疎通に効あり荷主が濫りに其の貨物を託送せざるべしと信ぜらるゝ所なり、（四）本年の米の作柄を見るに至は始らく措くも米は遙に昨年より不況殊に黄海道米の減收は朝鮮産米の

△輸出能力 を大に殺ぎたりと觀測して差支へなし要するに十一月に入らば素より多少の滯貨は起り來るべきも昨年の如き騒ぎを繰返す事はなからん

在滿邦人の新企業

鮮銀滿洲支店長會議内容

鮮銀奉天支店長　小西春雄氏談

朝鮮銀行滿洲支店長會議は去る十三日より奉天支店に於て開會中のところ愈よ十八日を以て終了したり、列席者は奉天、大連、安東、四平街、長春、吉林、哈爾賓の各支店長にして之れに大連より大田理事出席し京城本店より阿部營業局長列席し大田理事司會の下に毎日晝夜兼行

△頗る熱心に討議 せられたり、蓋し這回の支店長會議は去る大正四年奉天に於て開會せられたる以來のことにして之れを當時のそれに比較すれば内容形式相共に頗る進歩せるものといふべく其の深さに於て廣さに於て甚だ有益なる會合なりき、而して討議せられたる議題の主なるものは各支店の營業上の重要問題は勿論大要左の十一箇條なり

（一）滿洲各地に於ける邦人の新企業狀況及びこれに對する各店の關係（二）日本金券及び銀券流通の狀況（三）奉天に於ける大洋錢使用の各地に及ぼす影響（四）日本内地金銀輸出禁止令の影響（五）滿洲各地の狀況（六）最近銀及び證貨相場下落の影響（七）大連取引所紛擾の各地財界及び取引先に及ぼせる影響（八）滿鐵沿線及び奧地支店新設に關する件（九）在滿各店營業狀況に關する件（一〇）在滿各店と支那各地支店との對外爲替の狀況並に將來の方針（一一）支那銀行及び支那商人の取引に關する件、等

△其の二三を擧ぐ れば第一の滿洲に於ける邦人の新企業に就いては近時頗る注目すべきもの多く先づ安東に於ける汽船、製紙、會社を首め營口に於ける汽船會社、染料會社、大連に於ける滿洲工業、奉天に於ける製糖、皮革、化學工業、鐵嶺市場會社等頗る多く滿洲の企業界は近時勃興しき活況を呈せり、從つて當鮮銀のこれに關係する一部の預金、貸出し等にして何れも頗る順調に進展しつゝあり、第三の奉天に於ける大洋錢採用の影響は從來奉天に於て物議を醸せし支那側銀行の兌換問題と騒せるものにして從來の甘錢票を基礎として發行せる

△小洋錢票の弊害 多き を救濟せむとして本年八月十五日以來支那政府は兆銀及び一圓銀貨を基礎とせる大洋錢票を發行し小洋錢は各銀行共これが使用を禁止し奉天の幣制を統一せむと企圖せるものにして事實は不幸にも未だ支那政府の希望に副はざるものありしも奉天に於ける一部分の使用は認められ得べし然し奉天以北に於ては全然大洋錢制度行はれず依然として小洋錢により行はれ居れば或は大洋錢によりて混亂の程度を增加せるものとも云ひ得べし次に第四の日本内地の金銀輸出禁止に就いては一時支那人間に日本に於ける

△兌換禁止と誤解 されたる向きも無きに非ざりしが這は僅かに二三日間にて了りたり更に第五の滿洲に於ける倉庫業に對しては從來主として滿鐵の經營に成れるもの多く一般の經營は極めて鮮なかりしがこれまた將來發展の餘地あるべく且つ吾人金融業者と倉庫業者とは密接なる關係あれば之れが研究には充分の注意を拂ひたしと思惟す更に第六の銀貨相場の下落に對しては豫て留紙幣の流通多き滿洲にてはその影響する所尠少ならずこれが爲め打撃を蒙りたる商人も尠からざる次第なり、次に第八の

△支店新設に對し ては鄭家屯、錦州、海龍城地方の如きこれが增設を要する向きも尠なからざれど現に本月二十二三日には昌圖支店の開設あり更らに目下支那に於ける鮮銀支店の數は總數十三箇所これを滿洲進出後の四年間に見れば一箇年平均三箇支店を新設せる割合となり實に日本の銀行界に於ける新記録を作りたるものとも言ふべし、されば當分滿洲奧地に於ける支店增設は考へものなり[illegible]方支那の[illegible]

△相當に面倒多く 且つ北方の留及び南[illegible]銀塊相場の騰落激しければ充分に[illegible]將來は徐々進展すべきを信ず（十九日奉天支局）

鐵道時刻改正

十一月一日より實施すべき滿鐵線の列車運轉時刻改正は既報の如く京釜京義兩線急行列車京仁線各列車の改正を見る事となりしが其の改正時刻表は目下京管局にて極力印刷中に付來月三日頃に各停車場に掲示し又主なる向に配付すべしとの事なり尚京釜直通列車は京釜線大田を深夜に發し南大門驛に午前六時に着すべきものが七時三十分着に延び又南大門發京義線新義州行き午後四時二十分の列車が四時十分發に繰上げらるゝ外著しき改正は之れなしとの事なり

運賃低減交涉

日本郵船、大阪商船、尼崎汽船部の協定に依り本月一日より釜山阪神間穀物運賃を從來の倍額百八十圓に値上を實行せる爲め釜山當業者は非常の打撃を蒙り曩に釜山商業會議所を通じて前記三社に從來運賃の五割增に低減されんことを要望する處ありたるが容易に目的を達し難き形勢なるを以て當業者は種々研究中の處今回釜山商業會議所會頭大池忠助氏が大阪に於て開催する穀物商大會に出席すべく上阪せるを幸ひ前記各汽船會社に對して運賃低減の運動を託すことゝせり（釜山）

彼れ此れ

○墺國外相、獨逸の講和條件を打ち開けざるを怨り、獨宰相ミハエリスと、商議の繼續を峻拒す。茲に於て獨逸外相は、宰相に代り善後策を謀すべく、墺都に急行す。獨外相は、宰相以上の、強硬なる戰爭繼續主張者也。平和は墺の熱望する處、協商の主張なるは當然なるも、獨外相の、墺外相を屈するの日は、之れ即ち戰爭繼續を意味し、而して兩國中に、無形の城壁を築くの日にして、且つ又た獨逸の政變を意味す。

○獨逸の政界は、又もや恐るべき、變狀を示しつゝあり。宰相ミハエリスは、遂に其の椅子を去るべく、而して新に、宰相たるべき評判あるは、キユールマン也。彼は戰前駐英大使にして、英國は蹶起せずと斷定し、大味噌を付けたる男也。然れども彼は、萬事に如才なく、獨帝の信任厚し。果して彼が、墺國興亡の秋に際し、ベートマン、ホールウエッヒ丈けの、腕を揮ひ得るや疑問也。且つ獨逸國民が、果して今日の國家を、安心して彼に委託するや否や、亦大疑問たるを失はず。

□東京より、欣堂生

秋の蝶ほのかに草を移りけり

◎宇佐川一正男入京　過日入京せし前東拓總裁宇佐川一正男は其の後江景に赴き居りしが二十日午後入京せり

◎松永道長官歸任　水原に出張中の松永京畿道長官は二十日午後歸任せり

◎鹽澤警務部長出張　鹽澤京畿道警務部長は管内視察の爲め二十三日午前開城へ出張の筈

◎三本武重氏出發　滿鐵本社の業務研究所に轉ぜし元京管局營業課主任三本武重氏は二十二日午前九時十分南大門驛發列車にて大連に赴任すべし

人事

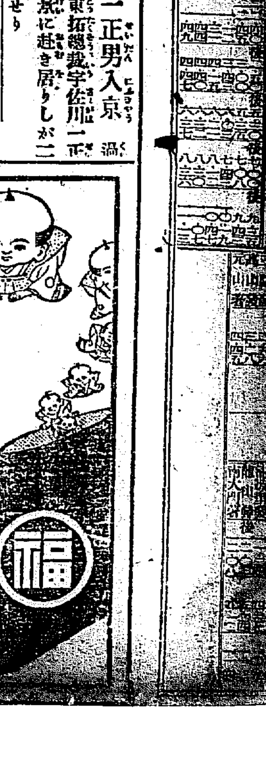
▲城數馬氏（京城覆審法院長）　廿日夜東京へ
▲美濃部鮮銀總裁　二十日夜東京へ
▲松村良太郎氏（新義州木林會社支配人）　二十日午後釜山へ
▲朝倉滿鐵營業部販賣課長　二十日午後内地より入京天眞樓へ
▲川口精一氏（鎮南浦久原精錬所員）　二十一日午前入京山本旅館へ
▲吉村鎮雄氏（北鮮銀行重役）　二十日入京[illegible]光館へ
▲津村龍之助氏（鮮銀平壤支店長）　二十日入京不知火へ
▲丸橋彦三郎氏（海軍大佐）　二十日入京榮旅館へ
▲新潟縣立農學校職員生徒三十一名　二十一日水原へ
▲岐阜縣立農林學校職員生徒六十五名　二十日午後入京旭館へ
▲西大門小學校職員生徒百二十一名　永登浦より歸京
▲遠山熙氏（漢湖農工銀行支配人）　湖南線方面出張中の處二十一日朝歸京

賜天覽

名實共に日本一

福助足袋

總ての點に垢拔のした福助足袋



青島支店設置

青島支店本日より開業一般銀行業務を相營申候

大正六年十月二十二日

朝鮮銀行

小鳥捕用

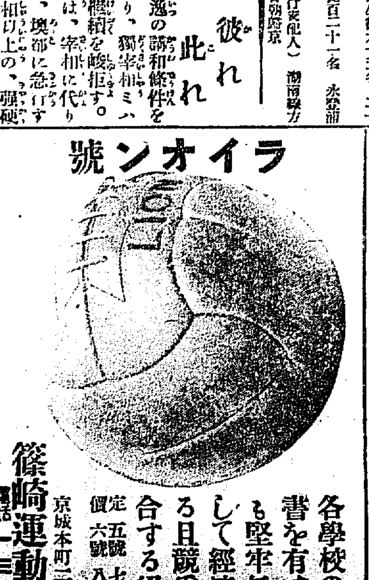
カスミ網

高さ六尺　三尺二圓　横巾三間　二圓半　高さ六尺　三尺二圓　横巾五間　四圓

（極上絹糸製）□其他雁鴨兎網無双網等種々あり

京城永樂町　吉備商會　電話三一四　振替京城

ライオン號



各學校の證明書を有する最も堅牢無比にして經濟的なる且競爭に適合する絶品也

定價　五號　七圓八拾錢　六號　八圓五拾錢

京城本町二丁目　篠崎運動具店　電話一一三〇番

製鹽工場新設廣告

弊店今般三好製鹽工場を讓受け且つ改善を加へ一ヶ月約百萬斤の製鹽能力を以て製出仕り品位の點は從來の面目を一新し純白乾燥なる最も善良なる製品を續々貯藏仕り居り候間多少に不拘御用命の程伏して願上候

再製鹽製造販賣
大豆、小麥、其他雜穀
石炭、麻袋、其他雜貨
佐賀セメント輸入販賣

原鹽 關東州産 青島産 直輸入

合名會社 鈴木商店 釜山出張員

電話 七六二番 工場絶影島一〇四番

愈々音樂の最好時期に入りました最も御安心の出來る樂器は

山葉樂器に限ります

新樂器が澤山入荷致しました

目録差し上げます

山葉樂器朝鮮代理店

販賣元　釘本樂器部

京城本町二丁目二九番地　電話一二八三番　振替京城六八四番

●畿黄平野の演武
晩秋の大氣を破つて
三好特派員
二十日午後七時南川に於て

數日前より早川新太郎少將統監の下に畿黄兩道の平野に跨りて開催せられたる歩兵第三十九旅團の秋季機動演習は十八日長湍附近に於ける大接戰を以て其聯隊對抗演習を終り二十日に至り歩兵第七十七同七十八兩聯隊に騎砲兵各一箇中隊及び若干の機關銃隊を加へたる

●混成旅團を編成
◆茲に旅團(假想敵)◆

對抗演習を開始するに至れり即ち早川少將の麾下に屬する混成歩兵卅九旅團は沙里院附近に集合せる敵の大部隊を攻撃驅逐すべく南進し來り金川附近(金郊停車、北方)に宿營せる時、二十日未明兵力五六千を下らざる敵が義州街道を南進十九日夜汗浦に宿營せりとの

●飛報師團司令部
◆(假想)に達したる◆

より茲に師團の右縱隊として宿地たる金川を出發汗浦に向つて前進を開始せり、壯なる哉、銃隊三千蜿蜒たる縱列隊形を作りて歩武整々、澄みわたる晩秋の大氣を破つて進めば、師團全軍の劍戟に映じて士氣更に旺盛、將に衝天の慨あるを觀る。已にして右縱隊たる旅團の

●前衛池内英太郎
◆大佐指揮の歩兵第◆

七十八聯隊(一箇大隊を缺き騎兵一箇小隊を加ふ)が汗浦北方の凸徳洞の高地を占領せる微弱なる敵を驅逐して該高地を占領するや斥候を出して前面の敵情を偵察中、恰かもよし今早朝より搜索隊として汗浦方面に派遣したる騎兵中隊より

●報告の到るあり
◆曰く――敵は汗浦◆

の北方高地一帶に占據すと――茲に於て早川右縱隊長に期するところあり即ち當面の敵を攻撃すべく歩兵第七十八聯隊長に野砲兵一個中隊を附し旅團主力の渡河掩護に當らしむ、これによりて野島賈一大佐の率ゐる歩兵第七十七聯隊は汗浦川を東方に向つて

●無事渡河するを
◆得たり、然るに◆

これを見たる敵の歩兵五、六中隊は右部隊の前進を阻止せんとして逆襲し來りたるも渡河部隊は更に怯まず急進して汗浦東方の部落を占領直ちに猛烈なる射撃を開始して此の逆襲敵を驟撲潰走せしめたり、この時、黄鶴山の高地にありて

●此の光景を目撃
◆せる早川旅團長は咄◆

嗟に汗浦川左岸に確實なる立脚點を得たるを看破したるものか此の機を逸せず友軍の渡河掩護に任ぜる歩兵第七十八聯隊に前進を命ずれば同隊は容易に渡河し歩兵七十七聯隊の左翼に連りて展開せる一方

●砲兵は急進して
◆汗浦陣地を變換◆

す。旅團の攻撃體形完備するに及び旅團長は諸隊に前進を命じ前面の敵を悉く驟撲するに至れり、斯くの如く師團の左縱隊並びに早川右縱隊が共に敵を驅逐せるを以て師團長は右縱隊たる「混成三十九旅團に退却せる敵の追撃を命じたり」是に於いて乎、早川少將は

●潰走せる敵を追
◆撃しつゝ義州街道◆

に軍を進め二十日午後五時三十分平山北方の地に到着せる時、敵は南川店の高地に亘つて陣地を占領せりとの情報あり、依つて同旅團は今夜は松洞附近に宿營し前面の敵情を偵察しつゝ二十一日拂曉を期して總攻撃を行ひ以て一擧に雌雄を決する事となるべし

統監―早川新太郎少將

●東宮殿下行啓
志野騎兵旅團と舟橋無線電信所へ

皇太子殿下には二十一日午前七時四十分兩國驛より御發車習志野騎兵旅團に行啓あらせられ種々御見學の後舟橋無線電信所に行啓御見學午後三時還啓遊ばされたり(東京特電)

●飛行家墜落
立石氏も觀衆も無事

二十日午後五時飛行家立石氏は岐阜縣揖斐郡八幡村にて飛行中二十間の高さより墜落し飛行機を粉碎したるも幸に立石氏は微傷を負へるのみなりき僥倖敗萬の群集にも異常なし(大阪特電)

●邦人監禁
支那獨立軍の爲

十六日日本人川上某は衡州にて獨立軍の爲めに怪まれ逮捕監禁さる長沙領事は目下救援中なり(北京特電)

●山水や佛畫の珍品集まる
美術協會の例會

美術協會例會は二十一日午前九時から三越吳服店樓上の一室で開會出席者は斯道の大小天狗四十餘名に上り持ち寄つた書畫約三十餘點之れは何れも各々方が珍品中の珍品とあつて結構なもの許りだつたが、就中一同の注目を惹いたものは祝技山の大卷(山村豊一氏)を筆頭に白下の抑鳥圖(寺內恒太郎氏)白河樂翁の書卷(服部豊吉氏)盧鰺の菊花圖卷(福田幹次郎氏)芳崖の雪中山水(前田大佐)抔ては千代の許から出たといふ蕉翁藏墨四君子帖(森勝八)なぞで古城梅溪氏の古佛畫は鎌倉時代のものと思ふが代々の家寶だと云ふ說明だつた。是等の觀賞が終ると『日本の床に就いて』てふ有益な講演があり、古城氏の佛壇位置變更說が出て小憩、夫れから出品者の說明に移つて終究裡に閉會したのは午後一時を過ぎた頃であつた

◆航空思想が朝鮮で覺醒
◆京城にも飛行協會の支部が出來た◆

▲科學的文明は日に月歩して今や二十世紀は航空時代となつた。歐米に於いて航空界の進步は實に驚くべきもので飛行機及び飛行船は獨り軍事上にのみ用いらるのみならず一般交通機關にも應用されかけて來た。

▲しかるに悲しい哉獨り我國に於いてまだ〳〵航空思想の乏しいのは實に遺憾である。

▲特に朝鮮は內地よりも更に智識、缺乏して居て高左右、尾崎スミス氏等に依つて漸く飛行機の何たる事の實地教育を受けた位であつたが。

▲過般日の出小學校に於ける本社主催の國民飛行協會々長長岡中將の飛行講演は聽衆に多大の感動を與へて朝鮮にも航空思想が漸く覺醒して當日の會場に於いても多數の入會者があつたのは實に悦ぶべき事であらう。

▲長谷川總督、山縣政務總監、美濃部總裁の如きは既に同飛行協會の會員であつたが、今回當地にも新たに帝國飛行協會の京城支部を設け內鮮名士二十人に理事を囑託したる處、と、理事諸氏は何れも快く承諾して今後航空界のために盡力する事となつた。

▲又一般の入會手續については朝鮮銀行にて受け附けて井上營業課長が全部取扱つてゐるから入會志望者は直接交井上課長に申込む可しとの事である。

▲又特に入會者の便宜を計つて電話で鮮銀に申込めば申込者自宅へ集金員をも派遣する事になつて居る。

▲同會では入會費二圓の外は一切他の義務金は徵收せぬさうであるから僅な金で斯る有益な會の基礎を造る事は非常に結構な事である

●奉天見學の京城中學生

滿洲各地を見學旅行中なる京城中學校職員生徒九十七名は二十日午後九時二十分奉天驛着一同元氣頗る旺盛にて各自定めの旅館に投宿せり二十一日は朝より北陵及び奉天城內見學の上同夜八時五十分發列車にて大連に向ふ豫定にて歸途は二十六日再び奉天を通過す可し(奉天特電)

●黒鉛盜掘故買
犯人處罰

平北宣川地方にては黒鉛熱高く爲めに官憲の眼を偸みて盜掘をなし奇利を博せんとする鮮人と之れを故買する内地人續出し居れるが最近定州郡邑部面城外洞居住高知縣生れ徳弘千代彦(二九)郡東山面龍德洞坑夫姜昌化(三三)定州城外洞居住山知縣生れ下村廣吉(三一)同所島根縣生れの尾田喜六(三七)等檢擧されたり千代彦廣吉昌化の三名は本年六月より九月中旬迄郡東山面龍德洞の黒鉛鑛にて黒鉛約三百六十二貫鉛鑛を盜掘し三百八十餘圓にて前記の嘉六に賣却したるものにて三名共十月十日定州支廳に於て廣吉は懲役五箇月昌化は笞刑六十嘉六は懲役五箇月及び罰金六十圓に處せ

●釜山發の最初の直通車

奉天釜山間の直通列車は十一月一日より運轉する事となりしが釜山棧橋驛の分は十月三十一日午前十時三十分の北行列車より安東に於て乘換を要せず奉天に直通すべし

●巫女巫女より強奪 全北

和順郡道谷里竹靑里住巫女朴岩千禮(五九)及び同人の夫姜奉順(四二)同面泉巖里巫女金小斤禮(四八)の三人は同面信德里なる巫女姓名不詳(三七)が始終竹靑里或は泉岩里等に出入して祈禱を依頼さるゝを妬ましく思ひ八月二日竹靑里李石吏方にて金姓女が祈禱を爲しつゝある際三人は共謀して金姓女を捕へ所持金三圓餘を奪ひ其の後二回に金姓女より合計二十餘圓の金品を強奪したる事發覺此程[illegible]者三名を楊州憲兵[illegible]遣所の手に逮捕さる

●騙取して豪遊 慶南梁山

郡邑内面北部洞生れの前科數犯鄭定龜(三七)は安東縣に至り料理業朴在鎬より五百八十五圓を捲き上げ密陽より朴點伊(二二)と云ふ美しい妓を連れて十六日夜木浦に到著したるを探て手配中のことゝて木浦署に捕はる

●法華宗前管長
日瑞師來る

本門法華宗前管長野原日瑞師一行五名二十一日朝新羅丸にて來釜南濱佛立講にて法話を爲し二十二日午前十時半發列車にて京城へ向ふ筈なり(釜山特電)

●櫻井町の小火

二十日午後一時三十分頃京城櫻井町三丁目三十七番「新炭商李聖根方温突の焚口前より發火したるより常備消防隊馳付け同家を半燒したるのみにて直ちに消止めたり

觀戰記

▲十八日に聯隊演習が終つて一日休養した各隊は二十日の旅團對抗演習には、いづれも大元氣で宿營地たる金川を出發した▲靜かな清々しい秋の朝の郊野に響き渡る行軍の喇叭に全軍の士氣は緊張一段の強さを加へて蹄を蹴して高嘶く駒の聲さへ勇ましかつた

▲三千に餘る一部隊が朝露を踏んで進軍する事二里餘の地まで來ると突然本隊の前衛から發砲の音が聞えて來た

▲敵の前衛と衝突だなと思ふ間にその音が劇しくなる、全軍は前進ボン〳〵と秋晴の空氣を震はして來る▲が休止して色めき立つた

▲出て行く傳騎、歸つて來る斥候の報告などいづれも次第に敵に近づきつゝあるを直覺させるに十分である、その内に敵は退却したと見え小銃の音が止むと本隊は更に前進を續ける

▲汗浦驛より南へ距る約半里の汗浦川の近くに來た時、突如として早川右縱隊には命令を發した、それは甲聯隊は乙聯隊の渡河を掩護すべしといふのである

▲茲に於いて七十八聯隊は砲兵と共に河を隔てた前面の敵に向つて猛烈な射撃を開始する、某高地に陣地を構へた、砲兵の打出す野砲の響は歩兵一個聯隊の一齊射撃の銃聲と共に曠野一帶を震撼させて暫くは硝煙漫々天地を掩ふの觀があつた

▲約戰數刻の內に敵側しつゝ進んで來た七十七聯隊は池内大佐等の先づ眞先きに馬を乘入れたのを始めとして全隊の將卒、先きを斬ふて河中に飛び込み、腰のあたりにも及ばうとする川中を物ともせず盛んに水煙りを立てながら驀進々々遂に全軍の渡河し終つた時は今まで空の紺碧を映して清澄鑑を浴したやうだつた川面は忽ちにして濁水滔々の黃河と化して終つた、時に正午近く渡河部隊に逆襲する敵の精鋭に向つて應戰する七十七聯隊、此の持續しつゝ射撃を續ける七十八聯隊並びに野砲兵、これが互ひに死力を竭して相鬪く狀は當日第一の壯觀であつた

▲然して地方人はいづれも沿道に於ては非常の好意を持ち汗川汗浦南川間では軍隊通過の本道には各居住民が水瓶に清水或は湯茶を入れて牛丁乃至一丁毎き位ひに附てあるも見受けたし、南川などでは邑内に立派な緣門を立て歡迎の意を表するなど仲々盛んなものであつた

▲亦演習地到るところ朝鮮人の見物も可なりに多いやうであつた
(廿日午後十時南川の旅館にて=三好生)

燈とし頃

▲先月本社主催で行つた宗演禪師の通俗講話『座右の銘』は非常に讀者の注意を喚起した▲古今の英雄豪傑又は偉人だとか云ふ人は皆朝起きをした人だと禪師が云つて居るから我々も大に朝起きの稽古をして偉人にならねばならぬと▲爾來朝起きする人が大分ふえたさうだ▲此講演の筆記は獨り內地人に要讀されたばかりでなく李完用伯の如きは日々新聞の配達を首長くして待つた一人だつたさうな而して其効能は朝鮮佛教の振興會に於ける演說に顯はれて來た▲曰く近頃內地から釋宗演と云ふ偉い禪僧が來た自分は親炙するの機會を失したが、講演を再三再四愛讀した▲皆な玉の言葉ばかりで何一つ棄つる處はなかつたが就中自分の最も感じたのは山岡鐵舟氏の話であつた▲山岡鐵舟居士は明治天皇の侍從を永く勤めた人で又佛教の信仰深き人であつた▲明治初年には內地に於ても排佛毀釋が盛んで佛者の如きは皆屏息せねばならぬ狀況を呈したのであつたが▲此の時に方つて山岡鐵舟居士は毅然として動せず若し日本全國のものが佛教に反對するにつても此の鐵舟が居る以上は佛法は決して滅びるものでないと偉い權識を以て頑張つて居つた▲荀も佛教の擁護者たるものは此の鐵舟居士の如き權識を持たねばならぬと云ふのであつた

●間島より
間島は近來鑛山熱の勃興と共に鎬を削り壯烈の[illegible]空前の[illegible]と喚き經濟的地盤に一新境を劃しつゝありしかつゝあり然し白豆景氣は此處に森林に鑛山に各斯業者の飛耳張目を駭殺ならしめ東滿の富源は今ある好望の時期に入りたるものこ三旬を出でずして終はるべく次いで粟の裏收穫田となり大豆に小豆すべし商埠地と專管居留地とは固別[illegible]

一等(五六)河倉與次郎、國尾金天郎、小川清之輔、清次郎、川上佐太郎、二等(四十六名)松井三、河合與天郎、淺井[illegible]

廿日午後九時十分釜山入港さくら丸二等客[illegible]松坂健一郎、松井さよ[illegible]

讀者文藝 課題及び募集規定

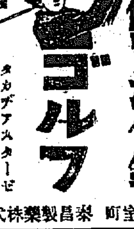
□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に北上の事號くは[illegible]の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣
晴れ一時曇り

旅行鞄 入學用 無比耐久 中學生向 好評 優良鞄券 紙製送附 發呈す

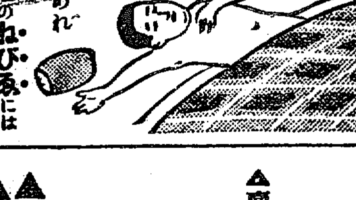
東京市芝區伏見町 内田鞄靴問屋 製造

內地水災 義捐演奏會
今回內地の慘憺たる水災に對し本組合妓生一同深厚なる同情を以て演奏會を開催致し患難相救はんて致しますれば多數御來會御贊助成下度願上候
一期日 廿二日より一週間
一場所 新彰妓生組合


健胃消化錠 ゴルフ
タカヂアスターゼを主藥とせる胃腸の新製劑なり
二十錠 四十錢 一圓
東京室町 泰昌製藥株式會社

蟲下だしの妙藥 蝶の菓子
ひびあかぎれやけど 一夜膏
熱散 香蝶丸 風ひきマラリヤねつさまし
到る處に支店出張所及び特約販賣店アリ
釜山本町四丁目 日本一藥舘代理店

龍山 むしぶろ
▲カツケ▲リユーマチス▲皮膚病▲子宮病血の道其他諸病に特効あり


朝夕の冷氣にねびえを御用心あれ
コドモのねびゑには 小兒解熱新藥 オインに限る 定價十錢・二十錢・三十錢
大人のねびえ又はかぜねつには 蛇印アンチピリン丸をスグ服用あれ 確に効あり 定價十錢廿錢
大阪心齋橋筋 本舖 丹平商會藥房 全國各藥店に有

露國公債の買入は今
空前絕後の最好機會
昂騰目睫の間にあり
▲弊商會は露領ハルピンに支店あり或特種の關係上斯く安價の提供をなし得

露國軍事短期公債 百留に付
三十四圓五十錢 賣出
(五十年目償還の自由公債と混同する勿れ)

▲公債要項
一種類 無記名五分五厘利札付短期軍事公債
一發行 (西暦千九百十五年 大正四年)(同千九百十六年 大正五年)の二種
一償還 (西暦千九百廿五年 大正十四年)(同千九百廿六年 大正十五年)の二種
一保證代納 露國政府に對し漁業權及關税保證金等に代納する事を得
一利札は年二回 弊商會又は露亞銀行にて取扱
一換算率 露貨一留は邦貨一圓三錢に當る
▲賣出要項
一總額 二百萬留
一申込期日 本廣告當日より三日間の發送日付ある分但し電報申込も受付す
一申込額 五百留以上
一申込證據金 百留に付金三圓
(但證據金は郵便爲替又は振替口座東京三四六七〇番へ御振込の事、全額御送金の場合は特に百留に付金五十錢引、公債は總金引替爲替又は郵便引替へにて送る、但し申込額賣出し總額に超過したる時は申込順に依る)
一送達方法
▲金融 此公債擔保に時價八割迄低利金融す
▲申込方法 買入額、額面種類、證據金額、買受人、住所氏名を明記し申込の事(書式隨意)
販賣 外國債 合資會社 ゼーアル商會
東京市京橋區南紺屋町七番地
電話京橋 三二五一番 三五一一
振替口座 東京 三四六七〇
支店 露領ハルピン モストワヤ 電話 三〇五

冬物全部品揃
明治屋本店
明刊商報送呈仕候
雜貨 問屋
釜山大廳町一丁目
釜山私書函二十番 電話 三四八番 振替京城一〇七番

內科(消化器病 呼吸器病)
小兒科
外科(內臟外科 肛門疾患)
婦人科
皮膚科
花柳病科(注射六〇六)
入院隨意
院長 醫學士 齋□勇
副院長 醫師 竹葉善松
其他各專門醫
京城本町五丁目(稻荷座前)
大和病院
電話二一二番

京城 本町一(江戶川横)
岡本齒科医院

朝鮮の陸地棉 前途益々有望なり (六)

實棉の共同販賣＝指定販賣　大規模なる繰綿工場の設立

◆未だ海外の市場 に知られざる在來棉の市價は概ね地方の需給關係に依り變動を來すに過ぎざるに反し陸地棉は海外に輸出さるゝ關係上原産地又は海外棉花市場の影響を受けて變動窮まりなきを常とす、然れども大阪に於ける市價の變動に至りては假に在來棉一斤を七圓とせば地棉百斤は十圓の割合を持續し相併行して高下するものゝ如し、即ち陸地棉は米國綿「育」棉花取引所に於て繰綿の中央雜物の多少、色澤の如何等に依り上中下各々三種に細別し合計九種の品等を定め一千九百八年四月以降格付を實施して今日に至れり、朝鮮に於ける

◆陸地棉の格付は 大阪に於て米棉ミッドリング(中品)の九十五パーセントを標準價格とし更に道長官の指定に依り繰綿は三種、棉は四種に分ち各々其の他の共同販賣所に備付しめ以て取引に際し格付より生ずる紛擾を防止しつゝあり、而して最近五箇年間慶尙北道に於ける陸地棉及在來棉の平均市價を示せば次の如し

年次	陸地棉	在來棉
大正元年	一一、五〇〇	九、五〇〇
同二年	一一、八〇〇	一〇、五〇〇
同三年	七、〇〇〇	九、五〇〇
同四年	一一、〇〇〇	九、五〇〇
同五年	一四、五〇〇	

◆全鮮紡績業者が 今尙原棉の不足を訴へて止まざるは前回屢々述べたるところなるが總督府が朝鮮に於ける陸地棉作獎勵の計畫年限たる大正七年までに於て獎勵施設の完備に伴れ擴張を斷行し豫定の如き作付反別に達したる曉と雖も其の産額は尙ほ鮮內消費額の半ばをも補ふに足らず然るに一方朝鮮の現况に徵せば更に陸地棉の擴張に尠からざる餘地の存せるは欣幸とせざるべからざるなり、就中慶尙北道に於ける

◆棉作擴張の餘地 豊かなること現今殆ど全羅南道に於ても其の比を見ざるものゝ如く全羅南道に於て畑面積十萬四千六百八十町歩に對し棉作付反別は六萬八百三十二町歩即ち五割八分の割合なるに比し慶尙北道は畑面積十三萬三千八百八町に對し棉作付反別一萬四千九十九町歩即ち僅かに其の一割一分(大正六年調)位に過ぎざるに見るも其の全般を窺ふに足るべし由來豊富なる原料の生産地を近くに控へたる工業の發展すべき筈なるは言ふまでもなし、されば生産交通其の他の關係上慶尙北道に於ける繰棉業の發展は更に進んで紡績業企劃の素地を爲さしめ以て南鮮に於ける棉業の中心地たるに至るも最早遠きに非ざるべきを信ず、要するに陸地棉作獎勵事業は最近に至り

◆驚くべき進歩を 示せりと雖も之れを當初の計畫に比せば未だ其の半ばにも達せざるの感なきにしも非ず、今後尙ほ叢多の改良すべき點及び擴張を要すべき餘地を有せるが故に之れが改良と擴張に力を致すと共に大いに棉北工業の勃興を促し以て此の有望なる陸地棉作業を朝鮮に於ける唯一の國家的新産業たらしめざるべからざるものあるを思ひ茲に一層當局者の奬勵と當業者の努力を希望して已まざる次第なり(完)

秋晴の門外へ ―廿一日朝北門內にて―

慶北面費決算

前年に比し成績良好也

慶尙北道管內二百七十二面に於ける大正五年度歲入出決算を見るに歲入は賦課金二十六萬二千二百七十五圓財産收入五百一圓交附金三萬四百四十九圓繰越金三萬一千六百六圓寄附金二十一圓雜收入九千九十八圓計三十三萬三千九百十六圓にして歲出は面諸給與金一十二萬九千三百二十六圓事務所費五萬九千一百一圓事務所建築費四千一百七圓其他四千六百二十二圓計二十九萬七千一百五十八圓にしてこれを前年に比するに歲入に於て四千八百五十二圓を增加し歲出に於て一萬二百七十七圓を減額の好成績を示し居れり

◉敎會堂增築 大邱府新町耶蘇敎會は近來信徒の增加に伴れ會堂の狹隘を告ぐるに至れるを以て其の增築を計畫し信徒側より寄捨金五百三十圓を得工事は七百三十圓にて支那人に請負はしめ目下進捗中なるが工事費の不足額は在留米國人宣敎師之れを負擔す可と

◉畜産品評會延期 大田郡に於ては本秋畜産品評會開催の計畫なりしも技術員に病人ある爲め多分來年春期に於て催する事となるべしと

◉慶山普通校增築 慶北慶山公立普通學校增築工事は請負入札の結果一千四百圓を投じ來る十二月上旬までに竣工せしむべく目下之れが工事中なるが增築工事費として更に同地資産家安永模氏より一千圓の寄附を受け居れるを以て不足額は學務員其他の有志之れを醵出すべしと

◉傳習所雜俎 大田恩賜(授産)傳習所に於ける近況を聞くに▲小稻は近年稀れなる豐作にして既に成熟期に近く本月二十五六日頃刈入れに着手する筈種類は早稻神力、多摩錦、石白の三種なり▲桑苗は播種當時旱魃の爲め時機遲れたると八月中洪水の爲め發芽發育共不良にして殆んど全滅の不幸を見たり▲小麥は十月十日播種同十六日發芽を見たり大麥は八月十六日播種したり▲蔬菜は旱害水害交々到り發育狀況非常に不良にして是又收穫の見込みなしと

◆鷄龍山の秋色

南鮮に於て小金剛の稱ある鷄龍山へ去る十七日の旗日に登探勝したる人々の談によれば同山の秋色漸く闌に彼處の谿、此處の溪など楓葉も色付き初めたるが見頃は本月末頃なるべしと道は大田より東鶴寺迄約四里半にして鷄脚を運べば四時間位に達すべく自轉車を驅らば二時間位に東鶴寺の門前に到るべし尙逕異に同山の秋色を探らんとせば大田よりするものは東鶴寺より連天峰を超わ甲寺に下り歸途豆溪驛より汽車にて歸るべく公州方面よりするものは陸路二里餘を自轉車又は徒歩にて甲寺に到り連天峰の紅葉を探り東鶴寺に下り儒城溫泉に一浴して大田に出で汽車にて歸公するも面白かるべしと因に大田中學校にては本月下旬頃岡本主任敎諭以下の職員に引率せられ往路豆溪に汽車便を藉り甲山より連天峰を超え鶴寺に下り歸校する筈なりと

◉禿山土砂防止講習 忠南道に於ては今般京畿道林業技手倉石勝氏を講師として山野就中禿山の土砂防止講習中なるが大田郡にては大田附近に於て十八、十九兩日實地に就て施行したるが講習者は日鮮人二十餘名に達したりと

◉竹本古靭一行來邱 過般來京城仁川方面に於て好評を博し目下木浦興行中なる大阪文樂若手淨瑠璃竹本古靭太夫一行は來る二十二日二十三日の兩夜大邱錦座に於て開演すべく前景氣湧くが如し

本能寺 法華宗大本山出張所(水[illegible])定期講演は廿二日午後七時から講師の『謗られたる日蓮主』なりと

―諸の砂―

●ますやの戎講賣出し 市內本町一丁目ますや吳服店に於ては下落せる格安品多數を新荷せるより廿三日より三日間賣出しを始め御買上金高によりニコ〳〵福袋を呈する由

▣ワイルス病盛ん 富山縣射水郡作道村片口の兩村にワイルス氏病が猖獗を極め昨今の患者中一家悉く臥床中のものもあり患者二百餘名に達し猛威を呈し居る爲め縣衞生局にては十五日から防疫に盡瘁中だといふ

▣亂暴水兵懲役 長崎市今町[illegible]高島二郎(五四)を毆殺したる元米國水兵スコエカニエサイル(二二)は一審で懲役三年の宣告を受けたが控訴したけれど十六日長崎控訴院で棄却となつた

▣金魚の全滅 先頃の風水害で東京府下で[illegible]組合の內で金魚のみでも十五萬圓の大損であつたといふ

▣稀代の畸形兒 [illegible](三九)は此の程額と手足は[illegible]の方に向き鼻と耳常に大きく手の小指の所に拇指が生じてゐるといふ稀代の畸形兒を産んだが其の子は間もなく死んだ

▣狹い女心から [illegible](三三)は子供の時に額に火傷して化け物面になつたのを悲觀して本年七月中無斷家出して村の奥山で縊死を遂げ居るを三箇月後の十月十三日に發見した

▣妻に斬る 三重縣一志郡川合村[illegible](二八)は[illegible]

▣門閥と成金 岡山縣[illegible]郡[illegible]村[illegible]は數年來反目してゐたが十一日夜芝居見物の席で數太郎の親友なる[illegible](三二)が口論中[illegible]から正親が暴れ出して[illegible]重傷を負はせ正親は直ちに逮捕された

おときばなし 章魚の足

『今日は、肴屋でございます。』と一人の肴屋が荷を擔いでおやおお台所口へやつてまゐりました。その荷の中には、鯛、海老、鮪、牛鯖、牛鮭などが入つてゐました。ゆで章魚も一びき入つてゐました。

『肴屋さん何があつて?』とお臺所からおさんどんが出て來ました。

『へい今日は上等の鯛に、海老に鮪に、牛鯖と生鮭、それからゆで立ての章魚入道!』

『あら、おほゝゝ、ゆで立ての章魚入道だつて。』と笑ひながら、荷の中のゆで章魚を見て、

『まあ大きな章魚入道ね。今日は旦那樣も奥樣も、何方もみんなお留守なんですから、あたしだけのお菜にその章魚の足を一本貰ひませう。ぬたにして食べると旨しいわね。』

『旨しいの旨しくないのつて、まるでお話にはなりません。』

『それでは大きなところを一本切つてお呉れ。』

『へい〳〵一番大きな足を切つて上げませう。』

と肴屋はゆで章魚を俎の上に載せ、一番大きな足を一本切り取りそれを又細かく切つて、おさんどんが出した皿の上に乘せて出しました。おさんどんはその皿を受取つて、お上の章魚の足を摺鉢の中へ入れました。

『毎度有うございます。』と云つて肴屋はそのお邸を出て、お隣のお邸へまゐりました。

足を一本切り取られたゆで章魚は、八本の足が七本になつてしまつたので、

『とう〳〵足一本切られつちやつた。殘念だな〳〵とう〳〵不具になつちやつた。口惜しいな〳〵、殘念で口惜しいな。』

と云ひはじめました。すると、それを聞いた鯛と鮪と海老とが、

『どうせおしまひには、足も頭も切り刻まれて、煮られるか、ぬたにされて食べられるんぢやないか。たつた足一本ぐらゐ何だ〳〵。』と申しました。ゆで章魚は大きな頭を打ち振りながら

『おしまひにはどうなるんだか俺は知らない。そんなことは又どうでも好いんだ。たゞ俺は足一本切り取られたのが殘念なんだ。口惜しいんだ。』

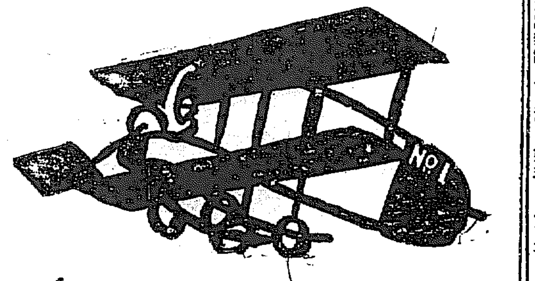
『あはゝゝ妙なことをいふゆで章魚だな。そんなに足一本が惜しいのか?』

『惜しいとも〳〵。ちやんと八本揃つてゐた足が、七本になつてしまつたんだもの、口惜しいのも、殘念なのも無理はなからうぢやないか。あゝ口惜しい、あゝ殘念!』

と云ひました。その時肴屋はお隣のお邸に行つて荷を下しました。そのお邸でも章魚の足が御用とあつて、俎の上でゆで章魚は又足を一本切り取られました。ゆで章魚の八本の足がとう〳〵一本になつてしまひました。

『あ、あ、今度は一緒に六本切られつちやつた。八本の足がとう〳〵一本になつちやつた。人間はなぜ章魚の足が好きだらう。いなになつてしまふ。本當に〳〵。』

と云つてしく〳〵と泣き出しましたとさ。(をはり)



煙草代用の第一彈
時代の要求に適中して名聲四方に轟然たる
森永ミルクキャラメル!
顧問 藥學博士 丹波敬三
技師長 藥學士 岡田[illegible]吉
6—34
森永製菓株式會社

淋病新藥 ツヨール
▲故下山藥學博士、慶松藥學博士證明▲田中醫學博士實驗▲朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定
▲笹川醫學士、加藤醫學士、山田醫學士等の實驗の結果理想的內服治淋劑と確定せる。
◎到處藥舖にて販賣
製造ハ 東京市日本橋區川瀨石町 ツヨール商會
發賣元 大阪道修町三丁目 田邊五兵衞 振替大阪八六七番
▲本品は殺菌力を有し胃腸を害せず
▲膀胱カタル尿道炎、消渴、副睾丸炎、腎臟炎、其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す
卅粒入 六拾錢　五十粒入 九拾五錢　百粒入 壹圓八拾錢
▲說明書無料贈呈す

十月二十三日より二十五日まで三日間
ゑびす講大賣出し
お樂しみの ニコ〳〵式福袋
お買求高に應じ お土産として 差上升
京城本町一丁目 ますや吳服店 電話四八三番

七日ツケ〳〵鏡をごらん色白くなる ゲンツ液
今東京で大評判の元素液色黑き顔赤き顔日ヤケ、おしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 朝鮮廿錢
東京神田和泉橋際 松本商店

●露國軍事公債破天荒安價賣出
露國政府發行短期拾ケ年償還五分五厘利付西曆一九一五年一九一六年軍事公債賣出
額面總額貳百萬留●賣價暴落本日より壹百留に付金參拾四圓五拾錢買受申込
方法 壹百留に付金五圓の割合を以て證據金(擔保希望は拾圓)(銀行、郵便、爲替券)相添申込[illegible]到着直に證據金受取證及び御買受公債證書の現品發送致候●殘金は御申込の日より十日間以內に[illegible]
●代金拂込の御都合上便宜利子にて[illegible]跡金は假に最終迄利子を拂ても尙且約四倍四千留買受得るに付此機會を逸せず可成多額御申込
莫大の利益が有升から結局證據金丈で此有利なる公債を買求め得●露國の壹百留は日本の壹百參圓餘に相當す然るに戰亂の爲め特相場暴落結果如斯破天荒安價に求め得る
一朝平和の風吹かば直に暴騰大利疑なし
(該公債ノ原文ヲ翻譯シテ左ニ掲載ス)

露西亞政府 短期軍事公債 五分五厘利付 千九百十六年發行 金拾億留
公債證書 壹千留 無記名
此ノ公債證書ハ無記名又ハ記名ニテ五拾、壹百、五百、壹千、五千、壹萬、五萬、拾萬留ノ額面ニテ發行セラレ償還期ハ十ケ年トシテ發行スルモノトス。
此ノ證書所有者ハ公債償還ノ時マデ年五分五厘ノ利子附ナル此公債ニ對シ壹千留ノ債權アリ但シ此證書ノ利子ハ西曆千九百十六年十月十四日ヨリ起算スルモノトス。
此ノ證書ノ元利金ハ永久所得税ヲ課セザルモノトス。
[illegible]
(大藏大臣署名)(國債局長署名)
千九百十六年發行 短期五分五厘利付軍事公債 第一利札 [illegible]

中込定額に滿たる時は拒絶す
特典 今明日中申込者には十四日附利札の獲得權を有す
公債現物御覽隨意
此の申込は中込書か郵便の先着順に依る者とす
⊙銀行爲換にて御送金の場合は左記銀行を御指定御送金の段下度候
日本橋區兩替町 横濱正金銀行東京支店
京橋區尾張町 株式會社八十四銀行東京支店
麴町區山元町 合名會社田中銀行
麴町區麴町六丁目 株式會社麴町銀行
日本橋區青物町 株式會社第百銀行
京橋區木挽町 株式會社十五銀行
內外國公債株式現物賣買 諸公債株券擔保金融
○東京市麴町區麴町一丁目二番地(半藏門電車停留所前) 創業明治參拾五年二月
合資會社 永島商會 電話番町三三九九・三三四三

●露國自由公債 壹百留に付金貳拾八圓にて即賣 (申込金一圓據金 殘金は代金引換發送す)

[illegible]
◉連絡船上陸客 廿日午前九時釜山入港高麗丸一二等客 [illegible] 三等(百九十名)
[illegible] 三等(百〇六名)
●宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

左甚五郎

第六十一席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

棟梁三五郎は今に門跡樣から仕事の沙汰があるか、お話しがあつたら早速仕手方を何人と宛て、下小屋も永い間の普請で見ると充分に造へなければならんと心待ちに門跡樣よりの御沙汰を待つて居るが他では種々などゝを云つて居るのに何の沙汰も無いから、何うしたのかと思つて、聞きに行くのも訝しなもんだから其の儘に濟んで居たが、餘り御沙汰が無いそこで三五郎心中に不思議に思つて居た、能く〳〵調べて見ると御沙汰が無い譯だ、今度の普請は京都から大工棟梁が仕手方を三十六人伴れて其の時分でありますから京都から江戸表へ下つて來るといふことになつた、是を聞いて三五郎大きに驚いた 三『それぢやア今度の大普請は京都大工がやるのか、豈夫そんなことはあるめえと思つて居たんだが、又それにした處が御用部屋から何とか沙汰がありさうなものだ』今日は沙汰があるか、明日は沙汰があるかと思つて居るが沙汰なしだ、成程今度の大普請に就て京都のお大工坂本春重といふ者が乘込んで來た、さア是を聞くと三五郎すましては居られない、早速支度をいたしまして淺草の門跡樣へ遣つて來た、取次ぎを以て三五郎御用部屋樣に鳥渡お目にかゝりたいといふことを申し入れた用部屋は是を聞いて○『あゝ今度の御普請に就て三五郎出頭けて來たな』と思つたから何にしろ面倒のことださ○『此方へお入り』三『ハイ』○『何うも何時までも陽氣が定まらんで……』三『左樣でございます、又其の作用かお天氣工合もはつきりしません』○『あゝ何うも……何か用かな』三『早速伺ひますが』○『ハア』三『今度の御普請ですが』○『フム』三『只今もちまして御沙汰がございませんから、御用部屋へ伺ひに出ましてございますが未だ當分大普請にはかゝりませんのでございませうか』と種は判つて居ますけれども何と御用部屋が云ふかと思つて三五郎が打突つて見た○『イヤ棟梁、今度の御普請に就てはね、御用部屋なんぞが嘴を入れる譯に叶かないから只影で心配して、淸島町の棟梁にも氣の毒だと思ふので』三『ヘイ、然て見まするとお普請は延びましたので』○『イヤ然うでは無い、もう程なく普請にかゝるのだけれども今度は京都から大工を向けてよこしたんだ、坂本春重といふ棟梁が仕事に來るんだが、其の事に就てお前の方へも一應渡らんければならんから、作事係へ俺の方から一旦打合して、是とてもまだお前方へ沙汰をするまでにいたらんのであるが、此度京都からの沙汰で、作事係は平間の本淨寺樣が仰付られたんだ、其のお方が萬事引受けて居る 三『然て見まするとと此度の御普請のことは御用部屋の方で……』○『一切俺の方では嘴が出せないんだ、本淨寺樣へ話しをして見たら何うだ』三『デハ、洵に恐れ入りますが、本淨寺樣といふのはお目にかゝつたことがございませんが、御用部屋樣から鳥渡お取り次ぎを願ひたいもので』○『あゝ宜しい、暫時待つてお在』三『ヘイ』用部屋も肩がぬけないから早速本淨寺が出張して居るものですから、本淨寺へ此のことを取次だ、是は私が申上げませんでも皆さん御案内でございませうが、川崎の大師樣から一里ばかりしか離れて居りません平間村本淨寺、今日に於て成りましても歷然と本淨寺の寶物として殘つて居りまする、是は後のお話し、此本淨寺へ御用部屋から三五郎の申し出を取次ぎました

京城東四軒町
衛生 病院 ホテル 御用
牛乳
岡野牧場
電話一〇六九番

十月廿三日九星
本命八白 舊九月八日戊戌 艮 赴佛滅
▲八白 ●成張損の事有日新事見合せ東方は吉凶 ●良▲九紫 上進の日韓居入り會談名弘求 ●職探 ●就婚禮帶祝等皆吉▲一白 一寸一パイ喫はんとす新事手控へ諸事は吉買物に用心せらるべし▲二黑 有がた迷惑の事有日新事手控へ ●給事は吉又は財を防がるべし▲三碧 親子の中にも行違ひを生ぜんとす謹んで新事手控へ ●事は吉▲四綠 ●短慮ぶつた事有日新の手控へ ●事は吉女子は行儀を守らるべし▲五黃 ●難儀の事有日新事手控へ事は吉一切せわ事 ●禁ず▲六白 ●從の日轉居開業入學名弘求 ●造船婚禮土工開始藥等萬吉▲七赤 利廻りよき日轉居開業旅行名弘求 職命件婚姻等萬吉 ●物に障の日

外科 一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城水標町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話西一一九番

演藝案内

本町五丁目 稻荷座
新派喜劇改正美團一行
第十二回目替り藝題
一番目 新己が罪 全六場
二番目 生人形 全二場

京城壽町 壽座
電話五七八番
▲東京新時代劇愛澤正義一行
[illegible]

有樂館
電話(階下)二〇五番
[illegible]
▲人情劇『井蜂の花』(全五卷)[illegible]
[illegible]

京城本町 壽館
電話一〇五〇番
▲浪界の女王吉田小奈良一行
▲美久仁の華 ▲中山安吉 ▲藤田新左衛門 ▲齋藤哉也 ▲敷井玄
▲代水戶老公 ▲大石東下り ▲佐倉義民傳甚平の渡し 吉田小奈良
[illegible]

黄金館
電話二六三七 二三六六
[illegible]
▲泰西滑稽『暫士義』
▲舊劇『朝比奈三郎』
[illegible]

櫻井町 大正館
電話八七三
當る十月十九日より特別大寫眞提供
▲泰西活劇『ヴヰニスの一夜』
▲新派連鎖劇『常陸丸』
▲家庭悲劇『一人の情』
▲冒險大活劇『人?獸?』
▲舊劇『荒城』
[illegible]

流經新藥レスノリン
月經
閉止四五ケ月以内に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を達し其効果は他藥に優越す
價一圓廿錢(一割增)送料 切手代用一割增 說明書呈
大阪北區曾根崎上一丁目三六 發賣元 常盤藥院

痔疾は 致命病なり

世人往々痔疾を目して輕微なる病かの如く思惟する傾向なきにしもあらず是は誤解の最も甚しきものなり本病は其初期に於て完全なる治療を施せば容易に治療する疾病なれ共之を放任すれば變質に變質を重ね種々なる疾患を誘起する極めて危險の病氣なれば須らく治療を怠る可らず而して今より多年の期間に渡りて最も病勢の亢進する疾患なれば患者の參考に資せんが爲に玆に効力絶大の奇藥を紹介せんとす本劑は小松林堂主が多年苦心研究の上完成發賣しつゝある小松痔退藥(肛門塗附藥)小松痔退座藥(肛門挿入藥)なるが該劑は局方以外の藥劑を配合せし祕方傳來の家傳靈藥にして痔疾一切最も難治の重症たる脱肛痔瘻等何等苦痛無く自宅に居ながら慘なる苦痛をせず職業に從事の傍ら使用し得て治療奏効顯著也發賣以來數百通の感謝狀を拔し實に不思議の奇藥たり本病の爲煩悶苦惱し居らるゝ方は前記の東京京橋區南鍋町小松盛林堂電話京橋二九七番へ來訪せらるゝか遠隔の方は『ハガキ』にて申込めば患者が實驗上有効の立證と併せて懇切に說述せし病原理由自宅治療法の詳明書を無代郵送せらるべし患者は誠意の報道を無視せず一日も早く本劑を使用して愉快に活動せられんことを勸告するものなり

◉人心看破術 好かれる法
男女誰にも好かれる事は交際上必要であります此本は之を誰にもわかり易い樣に面白く書たもので商人も勤人も奉公人も人に好かれて立身出世する
流の卷 此を讀めば その奧の手が覺へられる珍書……廣告文に就き其筋から御注意がありましたからあとは御察しを願ひます……
艶麗の頬美本○大は本金○携帶至便 三十八錢(送料共)密封は六錢增 金は代金引換小包で(五十八錢)後金希望者は四十二錢(又は四十五錢) 郵券代用
東京小石川區東青柳町 豊文館 振替口座東京三三九九三番

進呈
特許の理論及出願要領
件を說明せる『特許の栞』と題する冊子を呈す希望者郵券二錢送れ
東京日本橋區上槇町
石特許法律事務所

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

專賣特許 本邦及英米政府

▽甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去れり

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり
◎複方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して有機鐵。有機燐及び石灰。規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用	用法
五歲以下 一回一顆乃至二顆	普通菓子の如く食すべし又は其の儘水或は湯にて嚥下するも妨げなし
十歲以下 一回二顆乃至三顆又は四顆	
十五歲以下 一回三顆乃至四顆又は五六顆	
大人 一回六顆乃至八顆	

定價	
五十顆入	金七十錢
百二十顆入	金一圓四十錢
複方百顆入	金一圓四十錢
內地以外は關稅運賃を加ふ	

滋養強壯料

(現品縮寫圖)

▼如斯人は滋養料◎複方肝油ドロップスを用ふべし▲

一、顏の色が蒼白くて艶の無き人。
一、皮膚の紋理が惡く、ザラ〳〵して居る所謂あれ性の人。
一、身體一般に貧血してゐる人。
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人。
一、筋肉の目立て痩せてゐる人。

一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人。
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒。
一、頸が細長く、頰が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る、所謂結核素質のある人。

一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人。
一、身體一般に脂肪氣の少き人。
一、顏や手先きを滑こくし度人。
一、產前產後の滋養を計らうとする人。

ミツワ石鹸 ◎ ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京七一〇番 丸見屋商店 營業部電話浪花三〇 四四八、四四九、四五〇番

高貴御用の美膚料

一分間で美顏術が出來る
お肌を常に若々しくする

クレームレート

◈完全に荒を留める
◈お肌を柔に美しくす
◈お顏に脂肪が浮かぬ
◈天下一品の化粧料

現今無數のクリーム中、クレームレートは根本精分が非常に強くムいますから完全にお肌の荒を留めます。分子が細かいから使ふと直ぐ、お肌に溶け合ひ、皮膚の根底を整へますから、お肌を柔に美しく致します。クレームレートには少しの動物性脂肪が使つてありませんから、厭な臭ひがせず、お顏に惡光が致しませぬ。附けたゞけで美顏術が出來、尚お化粧下として、白粉の附をよく艶を出す事、實に天下一品でムいます。

東京 平尾贊平商店

汽車
京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 京元線(北行) 同(南行)
[illegible]

京城日報

二十二日朝刊
（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 一ヶ月金五十五錢 …
廣告料金 七字詰一行 …
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 …
發行所 京城大平通一丁目 京城日報社 電話 … 振替貯金口座京城三〇〇番

支那漫遊

松花江

蘇峯生

予等の支那船に乘り、埠頭區の碼頭より、松花江を溯り、東清鐵道の大鐵橋、三千幾百呎の下を過ぎ、傅家甸の支那街を見物せり。松花江水は、濁流泥々たり。其の碇繫せる川蒸汽は、何れも外輪車にて、宛も二十餘年前、歐露のヲオルガ河の川蒸汽船を想起せり。

松花江は、實に滿洲の生命の一也。滿洲の富と、此の江水との關係は、揚子江と、其の流域との關係程にあらざるも、それに髣髴たるものあり。此の江水の特色は、舟楫の便、最も多きにあり。其の航行の延長、殆んど一千哩に及ぶ。而して結氷の際は、道路として、江上を通行す可し。

予は哈爾賓の市場に於て、各種の川魚を見たり。最も偉大なるは、鱘鰉にして、鯉鮫と其雄を競ふ。支那人が、鮑の如く曲りたる庖刀にて、之を解くの手際は、料理人にも見せ度程なりき。今や朝寢の喧嘩も、漸く起き出でつゝあり。宿の下女、室内に入り來り、此の寢具を片附けんとしつゝあれば、此に筆を擱す。

（大正六年九月卅日午前八時哈爾賓北洋館に於て）

航空界と歐洲戰（四）

國民飛行協會長 長岡外史中將講演

様に今日倫敦では日が暮れて卅分經て後窓から明りを出す事が出來ない。若し之を犯せば二百磅即ち二千圓の罰金を取られる。各家とも厚いカーテンを掛け著い位は我慢をして居る。戰爭の事だから互に少々は惡口も言合ふ。獨逸人に言はせると、何もそんなにまで爲なくとも宜い。うんと明るくして、舞踏會でも開いたらどうだ。吾々は煙火杯を相手には爲ない。お前の街の眞中にテームス河と云ふがあるだらう。彼の河を飛行機上から瞰下すれば恰も長い帶を流した様に見ゆる。吾々は彼の帶を目安に攻撃する。御相談するが、何んなら彼の河に黑いカヴアーでも掛けたらどうだ杯と惡口叩いて居る。こんな譯であるから、バッキンガムの宮殿や、英蘭銀行や其の他の大建築物に在りては家根に網を張り其上に土俵を置いてある。斯樣に飛行機は進歩し、戰用としても偉大なる働きを爲しつゝあるのである。

扨て然らば如何にして飛行機を防禦するかと云ふ事を申述べると、第一は蓄音器の喇叭の樣な大きなものを四つ五つ備附けて、其の先に護謨を着けて、熟練した者が始終聽いて居る。若し仁川の方から飛行機が襲來すると直ちに響で判るから、諸所に電話で通知する。そこで即刻其の土地の總ての探照燈を悉く仁川の方角に向ける。之と同時に中央の衞戍司令官の命令で居る自動車が悉く仁川の方に走つて行つて、七十五度の角度でグルく迴轉し一分間に百四十六發位打てる飛行機攻撃砲で撃上げる。大砲は大分進歩して居るが却々飛行機に命中はしない。先づ二千米突以上ならば大丈夫中らぬ。昨年の春巴里を襲ふたツエッペリン飛船は數度の爆彈を投じたが、途中火がついて墜落し乘組員三十人は黑焦となつて死んだので、巴里では手を拍つて喜んだと新聞杯に見えたが、彼の時佛蘭西人は八十七人死んだ。西洋では色々な事を發明するが、一旦撃つた大砲彈を途中で宙吊りにして五年も六年も置く發明は出來て居らん。或る程度迄上ると落下する。斯う云ふ關係があるので、撃つは撃つても却つて自分の方が危ない。敵の三十人をして味方は八十七人死んだから差引五十七人損をした譯である。どうも下からは思ふ樣に撃てないのである。

そこで飛行機や飛行船が襲來したとなると、悉く地下室に逃込む。衞戍司令官の自動車隊が區劃を定めて、警鐘を打ちつゝ市街を走つて行く。市民はさあ來たと云ふ譯で皆地下室に入る。往來を歩いて居る者は地下鐵道の停車場に逃げる。斯樣な譯で地上からはうまく攻撃が出來ない。そこで飛行機を防ぐにはどうしても飛行機でなければならぬ。是に於て飛行戰が始まるのである。

君も御承知の通り飛行機と飛行機との戰爭は往々實に悽愴たる光景を現出する。曾て伊太利のサロモネと云ふ大尉が他の二名の戰友と共に伊太利の飛行機三臺が押折惡しく墺太利の飛行機に襲はれた際、第一にやられたのが同乘の中佐、頭部に八發の彈丸を受けて其の儘ぶら下がつた。假令撃たれてもバンドで締めて居るから直ちに落下は爲ない。偵察の爲めに乘つて居た參謀大尉も同じく胸に數彈を受けて斃れたが、獨りサロモネ大尉は三回の宙返りを行り敵彈を横ぎりつゝ辛ふじて陣地に歸著した。一寸飛行戰の有樣を申述べて置くが、敵の飛行機が現はれたとすると、此方の飛行機は之を追撃する。速力は何れの飛行機も略同じであるから、居いて行ける。段々近か寄る。さあ前の飛行機がひよいと宙返りをやる。すると後のが先きになる。そこで宙返りしたのが今度は後に現はれてドンくと發砲する。又前のが宙返りする、後ろが先きになる。後ろから撃つと云ふやうな譯で、飛行戰と宙返りとは離る可らざるものである。故に佛蘭西に於ては宙返りの出來ない者は飛行家として採用しない。先般京城でスミスが宙返りを行つたそうだが彼れを一種の娛みと考へては不可ない。横合から突風に襲はれる場合は飛行機は横に長いから、即ち横轉を行つて突風を避ける。又或は敵機數臺に襲撃された際には所謂急轉直下して逃げる。斯う云ふ爲めに高等飛行術なるものが極めて必要である。……サロモネ大尉は名飛行家であつた爲めに、三回宙返りを行つて戾り來り、著陸するや否ばつたり倒れた。戰友け驚いて介抱すると、五體に、七十二發の彈丸を受けて居る。此の大尉は戰友二人が敵彈に斃れたので自分も斃れると敵に屍を曝さねばならぬ、どうしても之を運び戾らうと云ふ武士の一徹心から、身に七十二發の彈丸を受け乍ら、辛うじて我が陣地に歸り來り、やれ安心と思ふた瞬間ばつたり倒れて絶切れたのである。故に此の三勇士の

秋日感懷十首（二）

笹島紫峰

醜虜人情十八灘、鶺鴒幸託一枝安。冷雨殘燈宜朝暮、數畝菜蔬足夕餐。一下簾閑翫鳴雄、天涯空見月團欒。半生浮世如閑間、讀罷妻慈亂嘆殘。

評曰、鄙懷有野趣。

滿窓行動凉如水、一葉驚秋天入秋。果藏無聊後更、百年榮辱夢莊周。紅箋也試醉、笑蹤兒曹付歸鄕。嘉遯養身元所願、雅懷遺世未休休。

評曰、句句皆佳、殊於七八首見起居之狀勞孫如聞。

見無涯涘不易眞、成丹無但任詩人。風搖荷葉跳珠露、霜染楓林中錦帷。休問浮生辱與榮、興來敲句酒盈觴。目驚滅却讀書力、欲束新衫刺股錐。

評曰、同感之至。

南船北馬猶幽夢、眠鷗閒鷺新結盟。楓錦多情為誰艷、露華何意近人鳴。逍遙醉耳聽偏好、利得也燕點滴聲。

評曰、不用雕飾、吐露天眞。

奚須世上競先鞭、天地容身最幸然。不帶甲兵胸吞分、有廿刀筆果何緣。思惑記念文館行、悠浩維（？）五十年。擬酹高樓菊花酒、秋澄劫後漢山川。

評曰、平易亦佳。

誰（101）

布施生譯

利介が巴里を離れてゐた一月ばかりの間に、保部夫人は呼吸が自由になつたやうであつた、賴太郎は利介との相談通り生れ變つたやうに行狀を改め、失つた信用を回復しやうと骨を折つた、六かしい仕事では無いが彈ち出來ない事ではあつた、殊にそんな事にかけては天性妙を極めて五分も透さぬ賴太郎の腕である、苦もなく母に取入つて其の愛子となりすました、案外さへ此數週間の賴太郎の變り方を見ては綿に自分の鑑定が違つてゐたかと疑つた位であつた。

そのうち利介はオロロンでの仕事を濟ませて歸つてきた、賴太郎は早速彼を訪ねて『どうだい、もう良い加減に惡事はやめて引込まうぢやないか、己も詐欺分配を斷つてよ。』利介は素氣なく排斥て『馬鹿云へ、そんな事して堪るもんか、己はもう大金持になつたんだが、まだもう些と目的があるんだ、今に樂を買つてよ、巴里でも重立つた人になるんだぜ。』『そりや危險だよ。』『何、いゝのさ、己は何も貴樣の手を切らうとするんぢやない、今に貴樣にも甘い液を吸はせてやるぜ、愈々の時があけたら貴樣にもたんまり分けてやるからよ』賴太郎は暫く默つて考へた、何しろ利介が主で己方だ、何うでも彼に從ふ外はない。賴太郎は言を改めて利介に向ひ『それぢやあそうさ、それは可いがお棒、お前は一體どうしてつい近頃まで知りもしないと言つてゐた兒貴の財産を自分のものに着服る心算だい、保部の銀行には兒貴の金が十何萬圓か預けてあるんだが、お前の方で巧く名義が立たなけりやあの金はお前の手には這入らないぜ。』利介はにたく笑ひ乍ら『うむ感心だ、巧い處に氣がついたな、しかしなあに、己はもう既然と考へてあるんだ、あの數と云ふ奴は親父の實の子でよ、ハンブルクで生れたんだ、つまり己の異腹の兒貴よ、それそう揃へておけば大丈夫ぢやないか、貴樣忘れないで明日でも可いから一寸此を保部の瑚樣に謂しておけよ、誰が無暗につて驚かされたらどうする、腹が違はうが誰が探査する、保部に何の關係があるもんだ、銀行の預金に仔細さへなければ、彼奴等はそれで安心するさ、まいさ、いゝねさ保部の瑚樣の事なら、あれも心配するに及ばんか、彼奴等なら假令どの位疑ぐらうが日へ出して何を言ふもんかい』『合点よ』賴太郎は頸をすくめて嘲笑ながら『へ、瑚樣や瑚樣かい、たゞさへいゝ、そんなに言つて大丈夫かい。』『大丈夫よ、そんなに心配なら己の筋書を聞かせてやらう、いゝか、それ己が始めてあの瑚樣の處へ往つた時にはさ、己は差向き強盜と云ふ役廻りよ、其時の威文句はた『金が嫌なら命を貰ふぞ』ぢやあれに『金が嫌なら名を潰すぞ』と言つたもんだ、瑚樣は無論怪手してそれから己を嫌出した』『へん嫌つたも蟲がいゝ、そんな生優しい事ぢやなかつたぜ』『蝋燭のやうに思つたさでも謂ふのか、そりやまあ何と思つても可いさ、處へ己は貴樣をつれて往つてよ役者の一人にしてやつたんだ、貴樣の狂言は巧く當つてそれで初幕が終演たんさ、二幕目になると貴樣が放蕩を始める、瑚樣は貴樣に呆れ返る、代りに己の氣味の惡いのを忘れたんだ、そして己を相談相手にして萬事己に頼つてきたんだ。』『へん氣の毒なものだなあ。』

…蔘、乾鰕五千圓其…二萬六千五百圓…布三千九百圓…鮑乾、鮑鱶、鮑鰭、海參、不花菜、海…諸、明鰯等にして此價額四萬六千七百十圓、九龍浦にありては明太、昆布等にして此價額十三萬四千六百五萬圓を始めとし和布の三萬圓、四十七萬圓…にて輸出せり…

…雄基、甘浦、鬱島の道洞其他浦項、丑山、江口等なるも今度咸北道最…

● 清會線軌條到著

…船腹不足の爲め一時到著を氣遣はれ…し晝夜兼行にて布設し十一月下旬…遲くも十二月中旬迄には完成せしめ營業開始の運に至るべしと（淸津）

…が構(?)し公衆の縱覽に供する由なるが出品範圍は北鮮一圓にて其種別は農産物、水産品、手工品、…居れる雌雄の大蛇あり重量九十三貫、身長四間三尺といふ逸物なる…が去る十八日午後五時頃如何にせ…

青島支店設置

青島支店本日より開業一般銀行業務を相營申候

大正六年十二月二十二日

朝鮮銀行

年中行事（清秋）

座敷は襖・障子を建替へ、居間には鳩居堂の梅か香を炷く

竹筒入 五十錢以上 郵税八錢
大壺一個兩入 八十錢 送料廿錢

宮內省御用達
大日本京都寺町
熊谷鳩居堂
フリカへ大阪六三八

可驚 普通ペン先の暴騰
二十五割以上の利益あるパイン萬年筆

昨年英國の鋼鐵輸出制限と禁止により最も普通ペン先暴騰の結果萬年筆使用が莫大の利益を成し、米國の…社代理部が…の萬年筆中より…を撰擇せる堅牢無比優良廉價の三大特長を具備せるパイン萬年筆は…五ケ年間の耐久力保證を斷言して憚からざる處なれば、パイン萬年筆の愛用の方に二十五割以上の利益を得らるゝ事確實にして勿論…

米國製正十四金イリジユーム附ペン 大日本政府登錄八八三二四號

完全インキ止式 三圓八十錢
完全インキ止式 四圓九十錢
完全インキ止式 五圓
…

不具合及自然破損は交換快諾又は無料修繕

▲既に帝國議會法院を始め官衙軍隊公私の學校會社商店に至るまで
▲パイン萬年筆の備付愛用を賜はる
▲不完全なる萬年筆によりて試驗し其眞價を誤認せる方はパイン萬年筆に依りて其眞價を知られん事を

發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

少女の友 增刊

海の不思議 山の不思議

一冊十三錢 郵税二錢 … 東京市京橋區 實業之日本社

二（海） 大洋を漂ふ氷山 河中に遊ぶ… 河の…
二（山） 山や海はどうして出來た… 山から海迄續く氷河の流れ 石炭…火山

三大小說
▲我家を燒く煙
▲かたみの手匣
▲庄爺さん
▲不思議な琴
▲更け行く秋

事實談 山の美 海の美 私の愛讀者となつた動機

藝術は永く人生は短し

日本が生める世界的文豪を記念すべき一大金字塔

豫約募集 漱石全集

顧問 狩野亨吉 大塚保治 中村是公

編輯 寺田寅彦 松根東洋城 阿部次郎 安倍能成 野上豐一郎 鈴木三重吉 森田草平 小宮豐隆

體裁 各冊菊版約八百頁 …

內容見本 規定 申込次第進呈

第一卷 吾輩は猫である
第二卷 短篇小說集
第三卷 虞美人草。坑夫
第四卷 三四郎。それから。門
第五卷 彼岸過迄。行人
第六卷 心。道草
第七卷 明暗
第八卷 文學論。文學評論
第九卷 論文及小品集
第十卷 俳句漢詩及前期の文章
第十一卷 日記及感想
第十二卷 書簡

略規
一、非賣品 豫約者にのみ頒つものとす、撰擇豫約の求めに應せず
一、拂込 毎月拂金參圓 一時拂金參拾參圓五拾錢 送料…
一、配本 大正六年十二月より毎月一冊 …全十二冊
一、申込期限 大正六年十二月三十一日

東西の思想を渾融し得て獨自の位置を世界文壇に要望する夏目漱石先生の全集出づ。先生は我國が有する唯一の世界的國民的文豪也。而して此全集は量と質とに於て眞に我國最初の全集也。堂々十二卷、紙數無慮一萬頁。既出の著作悉皆を網羅して更に稀代の珍たる書簡、日記及び俳句漢詩、猶以前の文章を加へ、先生一代の業績と先生生活の表裏と併せて初めて全し。其校正の嚴、裝幀の美、紙質の良、印刷の精に至つては、斷じて獨り世間流布本中の定本たり、長く後世子孫の寶たるを期す。

申込 岩波書店 春陽堂 大倉書店

豫約元 東京市神田區南神保町十六番地 岩波書店內 電話本五四二〇 振替東京三八一五一番

漱石全集刊行會

◎英對獨報復計畫

英國藏相ボーナー・ロー氏は下院に於て英國航空隊は獨逸飛行機の英國襲撃に對し報復の計畫なしと辯明せり(巴黎電報)

◎露政府遷都宣言

既電の如く露國假政府は十七日の閣議に於てペトログラードが戰爭地帶に編入せられたる結果莫斯科に遷都の事に決し直に訓令を發せり遷都事務長官キシノキン氏の談に依れば政府は二十日開會の假國會に對し右遷都の宣言を爲し假國會はペトログラード、莫斯科の孰れに其位置を定むべきや自ら表明すべしと(巴黎電報)

◎露國グ將軍の聲言

グルコウ將軍は秘密に露國を出發して英國に到着したるが將軍は語りて曰く首相ケレンスキー氏が極端派を粉碎するにあらざれば今後一層革命起るべしと而して同將軍は露國單獨講和の有り得べからざることを確言しリガの作戰は軍事上殆んど重要視すべきものにあらずと云へり(倫敦電報)

◎獨軍ダゴ島上陸

露國公報=十七日若干の敵軍隊はダゴ島中のセルロに上陸せるが同時に敵艦十一隻モーン島の東海岸に投錨せりとの報あり(露都電報)

◎リガ灣の敵艦威力

露國公報十七日リガ灣の戰鬪中我艦隊は敵の弩級戰艦に多數の砲彈を命中せしめたり昨日の戰鬪には十隻以上の獨逸弩級艦(カイゼル型及ケーニヒ型)十隻の巡洋艦五十隻の驅逐艦(內二十隻は最新式艦)十隻の潜艇及び多數のトロール船、假裝巡洋艦、浦瀉艦、水上飛行機等參加せり(露都電報)

◎獨逸水雷艇沈沒

露軍公報に依れば十九日獨逸水雷艇二隻はモーン海峽の機械水雷敷設區域內に於て沈沒したり(露都電報)

◎瑞典新內閣黨別

ストックホルム來電=今回成立せる瑞典新內閣は自由黨六名社會黨四名より成りエデン氏首相にヘルネル氏外相にブランチン氏は藏相に就任せり(倫敦電報)

◎日置氏等奉天着

前支那公使日置益氏及び藤田本吉油房會社長は二十日夜長春より來奉二十一日は北陵及び城內を見物の上張將軍及び日支交涉使の招宴に赴き廿二日は撫順を見て夜大連に向ふべし(奉天特電)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○橫井小楠翁が、總裁職松平春嶽侯の幃幄に參するや、先づ參覲交代の制を止め、諸侯の室家を、其の領土に還せしむ可く發議せり。當時其議に反對する者ありしかば、翁は毅然として、然らば諸侯各自、其の室家を引連れ、國元に下向する場合に、幕府は之を制止するの力ある乎と論じ、議爲めに決せりと云ふ。

○翁の詩に曰く『達人能明了。渾順天地勢。』と、天地の勢とは天下の大勢也。自然の力にあらず、人間の力を云ふのみ。天地の勢に順ふとは、即ち變通の政治を云ふのみ。未だ知らず現時に於て、此の變通の大作用を解する政治家、焉に在る乎。

○非常の場合には、非常の處置を要す。若し政治をして、紙型にて打ち出したるが如く、千篇一律ならしむ。平常の場合、尙ほ或は忍ぶ可し。但だ時の風雲龍蛇、隱見沒、智勇交も困しむの時代に於て、徒らに此の紙型政治を、推行せんとす。吾人は轉た其の難きを見る也。

○近時吾國の政論の如きは、立憲とか、非立憲とか、政黨政治とか、非政黨政治とか、殆んど實際の政局に、何等の干係なき閑問題のみ。之を學校の講堂に於て、論議する、或は不可なし。されど、當今世界の大局に立て帝國の運命を開拓せんとす。豈に此の如き守株、刻舟の陋態に安著す可きものならん哉。古人曰く、心は萬境に隨て轉ずと。一心既に然り、況んや衆心を支配する政治をや。

◎石炭移入激增

[illegible]司港より南鮮に移入さるゝ石炭今年に入り漸次增加となり一月[illegible]

二十萬噸は鐵道用炭として殘額約十萬噸は內地消費に宛てられ居たる五萬噸より直接貨車積として撫順炭の輸送を開始し九州炭の移出は爲め方面の需要は益々增加し勢ひ九州炭を以て之が不足を補給せざる可らざるの止むなきに至り昨年九月[illegible]

◎安東領事歸任

奉天に於て開會されたる滿洲領事會議終了したるを以て森安東領事は二十一日午前六時二十分赴任したり(奉天特電)

◎客月京城金融

客月中に於ける京城金融狀況を觀るに米豆は多少の波動を免れざりしも引續き市場好況を呈したるに拘はらず內地不出合並に端境期の爲め移出捗々しからず隨て此の方面

▲資金の需要少く 及綿絲布は三品市場に於ける瓦落等の結果月央ば以降內鮮に於ける商勢捗々しからず次第に資金の需要減じたるが如きも月の中頃迄は旺盛を持續し依然仲仕取引旺盛にして之が賣買資金を喚び其他上半期決濟資金の始め諸工事の方面牛皮、叺、諸飾石、煙草等の買出並に輸移出に對して相當資金の需用を喚起し

▲金融繁忙の狀を呈せり、斯くの如きは例年同時期に於て稀に見るの現象にして其の主因は綿絲布の暴騰及び銀塊の激騰に基く事なるべし然れども大勢に於て緩漫の狀態を脫する能はず金利亦多少弱含の傾を示せり今當月末市中九銀行の狀況を見るに預金二千六百三十九萬九千七百八十一圓、貸出二千三百八十一萬四千九百八十二圓にして

▲之を前月に對比すれば預金に於て百四十四萬一千餘圓を減少し貸出に於て百十四萬六千餘圓を增加せり而して更に之を前年同期に對比するに預金に於て三百二十五萬一千餘圓、貸出に於て五百八十六萬七千餘圓の各增加を示せるなりと(京城組合銀行調)

◎對露貿易決濟資金に就て

對露貿易協會委員 上野虎三郎氏談

過日大阪に於て開會せし對露貿易協會全國聯合會に於て決定せられたる[illegible]に就き[illegible]日午後[illegible]時[illegible]に同氏の談に曰く(新田)

對露貿易協會全國聯合會に於て協定したる個人貿易代金決濟の件に就き其後大藏當局と種々交涉せし結果露國政府をして個人貿易代金として今回露國大藏省債券を發行せしむる事を我政府に於ては顯意を諒したるに大藏省に於ては三千四百萬圓の同國大藏省債券を許容したるを以て同業各地に於ける個人貨物の既渡品及び既約品代金の調査を行ひ居れるも未だ之れ等事情を知悉せざる向き少からず爲めに豫定の金額三千四百萬圓に達せず依つて同協會の存意を普く一般に傳へんが爲め各地に注意を與へんとせるものなるが該債券は我大藏省に於て日本銀行をして

▲見返へし擔保 たらしむることを保證せらるゝものなるを以て同國に於ける個人債券は實際急に申出でらるゝは大に利益とする者なり予は商用の都合を以て京城に下車せず常業者又は商業所の人々と停車場に於て會見し實際に之れを傳達せんとせり尙同委員にして浦鹽の大手書三九氏蛤備賀の熊澤吉藏氏は倶に出發したれば海外の分は其々分擔して取纏むる筈なり更に同國に對する個人債權にして決濟未了の分並に既約品及び途中に係る決濟にして同樣

▲取計ひを希望 せらるゝ向は橫濱對露貿易協會安積伊三郎增田正雄の兩氏に宛左の申告書に種類數量並に金額を記し申込まれたし

今回對露貿易個人貨物現渡品及び既約品代金決濟として金三千四百萬圓を我政府が露國政府へ融通して同國大藏省債券を發行せしめらるゝ振合の外左記條件により補者現渡品及び既約品代金を以て該債券に應募可致候也

一、本露國大藏省債券は日本政府に於て保證せられ日本銀行の見返り擔保たらしむる事

一、換算率は規定換算率に準據する事

◎鮮牛移出好況

近來著しく增加し目下千五百頭餘を移出する朝鮮牛は釜山牛は近來著[illegible]藏島字の頭數を出し元來釜山には鎭南浦獸疫檢疫所に繫ぎ居れるが牛舍狹隘の爲め屋外に柵を設けて應急策を施し居れり元來鎭南浦にある牛舍は百五十頭より收容し能はざれば目下の所百五十頭の豫算に於て現在より數倍の增築を爲すやの說あり

◎平壤製粉開業遲延

平壤製粉所は十一月初旬より開始の豫定にて工事を急ぎ建造物は略ば竣工しモーターは過般到着したるも附屬機械末到着の爲め据付を了するに至らず從つて營業開始は稍遲れ十一月中旬後に至るべし事業は昨今非常の繁忙を來せる折柄同製粉所の如き開業開始の遲延に依て逸したる利益少からず依つて極力準備を急ぎつゝある次第なるが附屬機械も內地出張員に於て一兩日中に購入濟となるべき通知ありたりと

◎大邱水道近く竣成

大邱府水道敷設の近況を聞くに已に[illegible]

◎旅團官民招待

開城附近を中心とせる步兵第三十九旅團の秋季機動演習は豫定の如く二十一日南川附近に於ける捕捉戰を以て終了したるが早川旅團長は谷澤開城府尹の開城官民有志池內七十七、池內七十八兩聯隊長と共に即日開城に赴き午後三時半より開城公立普通學校に於て演習に於ける官民招待の宴を催したるが今回の演習に斡旋の勞を取りたる演習地の主なる地方官民並に先づ早川將軍の挨拶、宮崎在鄉軍人分會長の挨拶、萬歲三唱等ありて盛會を極めたり旅團長一行は二十二日歸京すべし

◎島峯博士歸東期

閣下御歯治療の爲め入京せし齋藤博士島峯徹氏は二十一日李太王殿下同昌德宮に伺候し御義歯を製作したるを以て同日午後二時合によりては李太王殿下の御齒を診察し御義歯を製作することとなるべく歸東の途に就くは二十一日[illegible]

◎市川軍參謀長歸任

滿州附近に於ける南滿守備隊の機動演習並に步兵第四十旅團の演習視察の爲め出張中の市川參謀長は來る廿七日朝龍山歸着赴任の筈

百聞百錄

前支那大總統黎元洪君は其後の消息が聞えぬが▲近頃の話によると何でも天津に新宅を作つたが總て西洋式であつて▲庭內には素晴らしい尺の池を作り門外にも大きな門を構へて居る▲遠方から見ると海濱の別莊に小舟を繫ぎ客の送迎に充てて居るらしく思はれる然し一向訪問客がない▲黎君も毎日一室に閉ぢ籠つて外出もせず時々三三の下男を出入する計りである▲だから仕方がない退屈で堪らぬ▲黎君は能く此の腕でもやつて毎日の日課として鍛鍊に勵んで居る▲張勳が事ある毎に毎日澤山腹なので居る其の服は溯北將軍在任中に作つたものだが、今でも新しく見わして居る▲室內でも軍服を着けて居るので軍人と云ふ至極手輕な仕立で滿足して居るのは能くので時々一緒に▲帽子は廣東に居た時に鉄六十圓で買つたものを今に頭に載せて居る▲島渡乃木張りの生活法を執つて居るが▲大總統閣下として

◆木村林次郞氏(第二師團參謀長) 二十一日入京大和町ホテル(現在)
◆上田和三氏(法學士) 同上
◆林金五郞氏(總督府營繕課長) 二十一日夜入京
◆須藤素氏(江原道第一部長) 二十一日夜入京
◆內田良氏(大邱憲兵隊長) 同上
◆入京雨庭氏(伊藤忠兵衞京城支店長) 二十一日入京
◆松崎一郞氏(伊藤忠兵衞京城支店長) 二十一日夜入京

◆二高出身者同窓會 在京城二高出身者は二十一日午後七時より花月に於て同窓會を開催せるが盛會なりき

銃劍相搏つ白兵戰

◎幾萬平野を震撼す

二十一日午後三時南川に於て 三好特派員

▲下の御歯を診察し[illegible]

天部分の敷設が竣へ西門市場の一部及び遊廓附近を通じて僅かに五十餘を殘せるも鐵管著手の順序にして十一月下旬までには全部竣成を告ぐるに至る可しと因みに從來敷設を了したる個所は需要者の希望に從ひ無料給水をなしつゝあるが成績頗る良好なりと

汗浦附近に於ける數次の遭遇戰に敗北又敗北、遂ひに軍を纏めて北方に退却せる混成北兵約一個旅團の北方に走せる混成北兵約一個旅團は南川店附近に有力なる陣地を占領せるに對し、早川少將の率ゐる混成步兵第卅九旅團は師團の左縱隊たり他の一部隊は右縱隊となりて之れを追擊すべく、廿日夜南川店を距る北方約一里の平山附近に警戒陣營を爲し折柄の月明に絶えず斥候を放ちて敵情偵察に努め居めたる結果兩軍對峙すれども

▲兵馬默して天地 ◆闃然たる夜の平原◆ 山地に小衝突あり に演ぜられ山野に徘徊する銃聲は草を敷寢の征士の夢を驚かすこと一再ならず、斯くて互ひに敵前に眠る不安の一夜は明けて二十一日の拂曉となるや早川左縱隊は敵前を距る約二千米の陣地を[illegible]して居る

▲或は雷の地軸 ◆を裂けよと轟き渡◆ るが如く壯烈の氣天地を壓するを覺ゆる時、兩軍の距離殆んど睫眉の間に逼りて、突擊喇叭の鳴り渡るありて攻擊を劍戟は閃かしつゝ各所の高地に肉迫すれば防禦軍亦之れに應じて敵射倍々銳く、更に白刃を揮して、一擧是れを粉碎せんとし、玆に一大白兵戰は現出せられ、突貫の聲砲火の響きは滿天滿地を震撼して肉彈飛び鮮血河川を生ぜんとする一刹那突如として使はる突擊中止の喇叭はさしもに猛る全軍の逸り男を留め得て午前九時茲に今期の秋季機動演習は全く終りを告ぐる事となれり

◎川霧立ち罩りて

◆漸く低迷せる狀◆

沿うて、南川店平野を縱貫する南川の水面一帶に、地の利を擴め居たる敵に對し、黃州街道に面して時に午前七時、黃州街道の西側より南川店前面を構へたる敵に對し、攻擊を開始し、地を構へたる敵陣に亘り、攻擊を開始す。時に午前七時、川霧の四方を圍繞する山嶽の一角より野の如く更に烟の如く、恰かも平野の如く輝ける陽光を投じ來れる朝暾滿地の霧、滿天の霧を漸く紅に染めて、其壯觀たる、防禦軍の北軍は敵陣の據せる高地の援方に遮り難眼を鋭く蜿蜒を練つて之れを望めば、山砲隊以て進み來る南軍は、歩一歩山野を踏みて接近すると共に、漸く展開して時に密集部隊となり時に散開し、此の間野砲兵の猛烈なる掩護射擊の下に益々前進を續け已に

◎約五百米の敵前

◆地點に迫りたる時◆ は散兵線の擴大據點に達し二里に亘りて北軍を壓せる波狀形の右翼並に陣地の中央部は鐵道線路の左方に位せる左翼の砲兵陣地は全く包圍されるに至り玆に兩軍の砲兵陣地は敵を掩ひて攻擊し來れり、一方旅團の砲兵に寄する戰野砲、機關銃、小銃の砲聲も倏き々相交ゆる雨あられの射擊の音響は恰も大雨霈然として來るが如く

天長節奉祝 大提灯行列

來る三十一日午後六時

詳細は追て發表すべし

主催 京城日報社 每日申報社

青島經濟概況

青島は最近、經濟狀況を聞くに青島地方は最も銀[illegible]の奔騰に連れて[illegible]

二千人と稱せらる而も日本人の青島に來るもの市況の沈衰は奧地と何等拜ふ處なきを以て結局無產者の如き今や生活の窮境に陷り居れるもの

▲昨年同期間の輸出額

を比較するに[illegible]就中最も顯著なるものは銅塊にして九月一日より二十日迄の間に於ける輸出額は僅かに七百九十三噸を算するに過ぎず

遠く直隸省河南方面に遮りたる現品を手に入るゝこと能はざるに至れり狀況此の如くなれば實業上有利なる時期來るとも從來の如き盛況を恣にすることも困難なるべし

ただに止まらず其他要品石炭、コークス等は殆んど一齊に減少せり、高粱の如きは僅かに廿三噸の移入(九月中)を見たるのみ其輸入品の棉花の如き何れも大に振を極め牛皮の如きは全く取引杜絶せり棉花は十月初旬に入り新棉花出廻り始め[illegible]

▲大宗たる綿糸[illegible]

京日案內

普通

◉朝鮮語無料教授 但し內わ教え致します宜敷し 就に行きても宜しい 府內資洞一ノ七 安藤行 737

◉金融 月收方 極秘 信用貸 宜敷 替御報伺上又御來 花園町八七 大和寺質店 736

◉店員入用 十八歲以上要保證人 者履歷書携帶本人來談あれ 仁川商町 野酒造場 729

十月生れの女兒預けたし希望者は 南大門通二丁目 藤村宅まで 728

◉融通 月掛 極秘 迅速 立替御相談に應ず 大和町三の三三(納涼前) 京城 屋 709

內勤事務員採用

番外

乃ち履歷書携帶來談 日本生命保險株式會社 開城代理店 738

銃砲火藥獵具

京城明治町 電話三〇二番 瀧川銃砲店 支店太田、公州 669

自働車

京城本町日 京城驛前八時發 本川 遞信二二三八番 自働車商會 6 5

◎はねつき うちみ くじき

一切の治療御依頼に應ず

明治町 柔術道塲 638

外務員募集

二十五歲以上 履歷書持參午前來談

明治町一丁目 東京國債 京城支部 734

◎木炭大安賣

現金

薪炭商 南大門通五丁目 高坂出張店 724

年金即時

恩給低利 五年半迄 保險不要 立替 京城永樂町 四年半迄 商品陳列館前下角 江州屋本店 680

三宅雪嶺先生序文

山中共古先生 二村竹清 島田筑波 齊藤松 木村仙秀 樋口二葉 角竹松更 大野静方 若樹コフスキール 池田秋方 森川鳳 三田村鳶魚 輪講

東海道中膝栗毛輪講

江戸研究の前人未味の珍書

江戸時代研究家として著名なる十餘名の家が一九の膝栗毛一本文に據り平易なる輪講を加へたるもの、風俗方言習慣等を諦に過ぎ悉く解釋せらる當時の風俗に依て些の滑稽をも逸さず江戶時代を知るに遺憾なき書物なり

定價金九十五錢 送料金六錢

大阪屋號 振替東京 三七五四六番

EIGIYO HINMOKU 陸海軍被服改造品類

作業用 紺絨外套、改造洋服、海軍コート

防寒用 紺絨袢、袴下、手套、靴下、毛皮胴着

狩獵用 外套、獵帽、袋、各種堅牢靴

京城北米倉町 村上商店 メリヤス雜貨卸商 電話一二二番

鐵工部開設

價格の不廉と期日の違約は現下に於ける工業界の一大缺陷として世の鑛業、工業家諸氏の幾多經驗せられし處に御座候此の缺陷を充たさんが爲期日の正確と價格の廉價を標榜して今般鐵工部を左記に開設致候間多少に不拘御注文被成下度只管奉願入候 敬白

京城南大門通五丁目八番地 沼木村商會 木村治八 電話一三六四番 電略(ハル)又(ハ)

鐵工所 龍山元町一丁目百廿三番地 木村商會鐵工部 電話一五六番 電略(ハテ)

大學病院 模範方劑 解熱 東京 カゼピリン

KAZEPIRIN 風 熱 全劑

本舖 淺野粥天堂藥局

家庭常備の發明品 便利重寶の發明品

新案特許 第四二六五八號 安全衛生かいろこたつ(名火無かいろこたつ)

火災てふ文字は將に字書より除かれんとす

▲火無こたつ…は少量の水に浸せば百八十度の溫度を發し
▲火無こたつ…は一度水に浸せば四十時間以上溫度を持續す
▲火無こたつ…は二十五日以上の使用に堪ゆ
▲火無こたつ…は火氣を用ひざるを以て火災の虞なし
▲火無こたつ…は湯水等の使用する煩なきを以て頗る便利なり
▲火無こたつ…は待合、料理店、理髮店、工場、病院等に最適なり
▲火無こたつ…は人體に缺く可からざるものなり
▲火無こたつ…は劇場等に使用して效果あり

‼各府縣都市に特約店を募集す‼

發賣元 東京市麴町區飯田町三丁目 特許品製作株式會社

火災を撲滅する發明品 經濟無比の發明品

自…十月上旬迄の採出高三千三…噸に達し前年同期に比し約七割の激增を示せり元來朝鮮にかける需要炭約三十万噸を算し內約…るも戰亂勃發後は日本內地にかける需要の激增船腹の拂底運賃の昂騰等諸般の事情に依り撫順炭を使用するに至り遂に割安となりたれば滿…減進するや鐵道用炭の供給すらも…の如くならず況んや內地にかける需要、到底之を充たすべくもあらざる狀態なるに釜山、元山、木浦…毎に門司池より五百噸乃至千噸を積載して朝鮮移出を開始したるを以て旁斯の如き積出炭の增加を誘致したるものなりと

▲他地方に轉任 するもの…に依り此の生活的基礎を作り居りたる數千の邦人は今や全然其の職を失ひ多く青島に來るものゝみにても約…續きたる不景氣の爲め瀕死に傾き居れる折柄最近銀價の急激なる暴騰のために全く致命傷を買ひたるもの尠なからず輸出品は本年九月と昨年九月に比し頗る遜色あるを見…に位する山東繭紬の如き…のため起りたる一時的現象ざるが故に其輸出品としての永久的價値に乏しき事は自明の事實なり又制錢は殆んど買ひ遺され今や…

▲二白噸內外の 輸出を見て僅かに…花生及び落花生油の輸出の如きも…ありては其輸出額に見る影もなく凋落せり落花生油は九月中に於て僅かに…栗も亦既に收穫を終りたれば之等の產品は十月下旬に及びて取引活氣を呈するに至るべし輸入にありては砂糖が香港及び臺灣より九月二十日迄に二千六百五十八噸の大…しき減少にして殊に九月十五日より郵船、商船、原田の三汽船會社は聯合して割乃至八割の船賃値上げを實行したるを以て輸入品は引…に對し尠からぬ打擊を與へたり

豆滿江も何のその

有史以前の古蹟調查＝人類發展の跡が判る＝滿蒙は亞細亞人種の發生地

●日本と大陸は有史以前から交通して居た

東京帝國大學講師　鳥居龍藏氏談

東京帝大講師總督府古蹟調査囑託鳥居龍藏氏は入京の途次車中に迎へし記者に語つて曰く

今回は總督府の囑託で有史以前に於ける慶尙南北兩道の古蹟を調査する目的でやつて來たのだが途中大阪で二晩ばかり泊つた之れは大阪の國府と云ふ所で今度人骨を發掘するのが出來たからである之の人骨は殆んど

●二千年經過 した物で而かも殆んど完全に近い人骨は屢々發見される事はあるが此んなに年代を經而かも比較的完全して居るものは誠に珍らしいものである。由來朝鮮には殆んど全道に亙つて石器時代以前即ち石器時代の遺物たる石製の斧、石の鏃或は石の劍と云ふ樣なものが殘つてゐるが之等は總て三千年以前の遺物で有史以前の事物に屬せねばならぬ其他同時代に於ける

●美術工藝品 とも目すべき土器等も多數遺されてゐる、而も面白い事には之等の石器土器と同一系統に屬するものが滿蒙西伯利亞沿海州方面からも發掘する事が出來るのである而かも斯樣なる樣或は擢柄等の工藝品たる所より觀察すれば人類發展の跡民族移轉の跡と云ふものは亦歷然たるものが有ると言はねばならぬ即ち滿蒙朝鮮と云ふ地方は總て同一人種で而かも沿海州滿蒙方面を民族

●發生地とし 其れより漸次南方朝鮮方面に推移したものなる事は推するに難からざる次第である、元來太古原始時代等に於ける動物人類の生存は總て自然的で其の生活に最も適應した外界自然を選んだものである即ち自分が調査し樣とする古蹟も其の代の人類生活地に在る譯であるから吾人は此所に着眼して調査の地步を進めるのである即ち河川海岸、他の地理的關係に依つて推斷する時は

●古代の人類 が果して原住せし地なるや否やの區別は大抵判るものである勿論此の判斷は自分達の經驗を基礎としての話であるが杖を驅つて旅行しつゝある途中附近は大抵古代人類の生活せし所ならんと經驗に由つて推せし地點には地上或は地下數尺にして殆んど規則正しく當代の遺物古器を發見する事が出來るものである自分達は斯くして發見された古器物に就いて研究調査し一つの歸納的結論を求めるのである、單に石器のみならず同時代に於ける

●種々の器具 即ち木製品其他も多く有つたらうけれども之れは數千年經過の中に腐蝕して今其の影を見る事が出來ないのは遺憾である古墳の如きもの數多發見するを得れども多くは之等の器具と共に腐蝕し終つた事を證明して居ると言はねばならぬ、前述の石器は唯に滿蒙西伯利亞方面からも發掘されるのみならず之れと同一系統に屬せるものが昨今に至り彌々九州中國畿內方面より發見さるゝに至つたが之に由つて觀察する時は日本內地及び

●大陸との交通 は已に史上に表はれたる素盞嗚尊或は大國主命より已に少くも以前即ち分離時代に及ばざる石器時代に史上前より始されて居る事が明かに推される即ち滿蒙朝鮮日本は同一民族の發展に過ぎないもので既往三千年以前より交通しつゝあつたと定する事が出來るのである斯くの如く自分達は古蹟を調査すると共に一方人類發展の跡をも併せ研究するものであるが此の見地に立てば滿洲、朝鮮、日本の區別は愚か鴨綠、豆滿江と雖も

■何等の意義 あるものではない。今回特に慶尙南北兩道を選んだのは別に意味はない單に古蹟調査委員の力で地を調査する事に成つたからで關野博士一行と異つた方面の調査に任じて居るだけの事である自分は昨年十二月から本年一月迄に江原道黃海道の古蹟調査をやつたが今回も愈々引揚げるのは來年二三月には成るだらうと思つて居る。

李王のお齒型　何うして拵へた

島峰醫學博士談

李王殿下の入齒を調製したる島峰醫學博士曰く「李王の齒型を造つたのは蠟であるとあつたが、彼れは近侍の人が見誤つたのであらう、あれは石膏を水に溶いて食鹽と硼砂を入れたもので、尤も義齒の齒型にはセメントと云ふものとの二種があるが後者は…のに…く…が取れて口が…くならぬ▲さうして…めれば…くなるが…に固まるので僅々四五分間に凝結した…である、故に之が…いて…型を取り更に本義齒を作るのである▲…た…の數は三十本とあつたが、あれは二十八本で米國ホワイト會社の特製品を用ひたものである。

護衛兵を附けて輿入

奉天督軍愛娘の慶事

奉天督軍の愛娘は今回鮑貴卿督軍の子息に嫁し廿一日朝奉天驛を發し天津に赴きたるが花嫁には護衛兵二十名附き寵臣長持は奉天特貨車五輛に納め頗る威儀堂々たるは流石に支那式なりき（奉天特電）

上、追擊部隊の突擊前進▲下、野砲兵の香川渡河（川上撮影）

北陵の秋を訪ねて

奉天の京中生徒

京城中學校生徒九十四名は三名の職員に引率され二十日夜來奉二十一日朝は徒歩にて宿より一里半の北陵を見物し更に城內の宮殿附屬地の南滿醫學堂を見、終つて我戰死者を祀れる忠魂碑に拜せり此の日滿洲の空は殘りなく晴れ北陵の秋、色彌々濃かに一望の如き平野の眺めさては宮殿內鳳凰樓上より俯瞰せる城內の光景など頗る一行の感興を深うせり夜は八時五十分の列車にて一路大連に向ひたり（奉天特電）

□旅團對抗演習

死か生か

都督府技師

長白山で行衛不明

關東都督府調査局技師岡村浦次氏は長白山一帶の森林調査中の處今回行衛不明となれり（奉天特電）

少年怪賊捕る

長崎縣生れの今村高一（二三）は本年六月支那濟南に渡りて貿易商と稱し太陽旅館に止宿中合客なる奉天松本洋行店員四谷久治より大洋銀（時價四百五十圓）を捲き上げて青島に逃げ同地新町遊廓松瀛樓娼妓壽代治を四百五十圓に身請し同樓抱千嶋妓化子事濱田いわの衣類雜品五百餘圓を窃取して大連に押し渡り此所にても大賊を働き序でに旅順をも荒したる末朝鮮に入り込み平壤東町に高橋操（二四）と僞名して投宿中なる平壤署の手に逮捕され目下取調中なるが一人は常に僞名を…て出所不明の質札八十餘枚（一千圓）を所持し居れりと

他殺嫌疑の屍體

去る十七日午後七時頃全南務安郡荏子面游船場の東方海岸に一見二十四五歲位木皮製の綱を以て兩手兩足を縛り上げたる鮮人男の屍體漂着せるを發見し智島駐在所より醫者を招き檢視を遂げしに右は死後二箇月を經たるものらしく他殺の疑ひあり目下木浦署にて犯罪搜索中なりと

惡店員の費消

京城大和町一丁目四番地江口雜貨店の雇人森田芳太郎（二〇）は主人の命にて…を受取り直ちに仁川邑內の料理屋に登樓し藝妓に現を拔かし件の金を悉く費消したる上其後同樣の手段にて數回金を騙取し大盡風を吹かせしも露顯し平壤署の刑事に逮はる

九死に一生

安東縣江岸通り津田秀吉は世程百三十石積帆船一隻に撫順炭五十八噸を積載し安東縣を出帆し海洋浦へ向つて航行中十日風雨の爲め破船し秀吉は中途にて大鹿島附近の小島に流され幸ふじて附近の漁船に救助せられたるが積荷約千百五十一圓、船（二千圓）は荒れ狂ふ激浪の爲に流失し行衛不明となれりと

◉長尾囑託の逝去　總督府囑託長尾兵藏氏令息…は今春以來療養中のところ去る十一日午後二時眠るが如く逝去せり享年十六葬儀は二十二日午後四時三十分南米倉町京城組合教會にて執行すべしと

突賊に驚いて飛出した狐

▽觀戰記▲

▽▽演習地は朝鮮人で賑ふ▽▽狐に苦しめられた防禦軍

■けふ一日を以て演習終了といふ全部隊の士氣は一層揚り、三千の將卒は旬日に亙らうとする劇烈な運動に靴の底のやうに踏み固めた足を踏み締めていづれも勇氣凛たるものがある。■演習を聞き傳へて早曉から南川停車場附近に蝟集する鮮人は夥しいもので、附近の丘阜といふ丘阜は殆んど眞白になつてしまつた。中には蓮歩蹌踉たる妙齡の美人もあれば、折れかかる腰を纔かに杖で支へた婆さんもある、大砲の鳴る時、機關銃の響く時耳を掩ひながら喜んでゐるのも面白い。■南軍が千山街道を前進して來る時、將校の振りかざす指揮刀がキラ／＼と日光に光つて美しかつたが、附近一帶に布置された假設敵の防禦軍が進出して來る狀態が判然しない、假設敵司令部の小良中佐は眼鏡を据つたまゝ默つてゐた。■兩軍が稻を刈つたあとの水田の中や豆畑の中を潛行して北軍の或る陣地を衝かうとした時山の林の中から大きな狐がその陣地の下の水田の中に飛び出して來たが、何方へ向いても叫喚の聲、小銃の響きするので、狐は左往右行して居たが、…なつて人の比較的少ない假設敵の山へ驅け込んだのは時に取つての愛嬌だつた

■狐と言へば池內聯隊は此の日の前進中に既に遭つたさうだつたが此の進一番に狐、猿等が非常に多い權なんぞは到る所の山野に跡した某將校の話である。しかし狐狸は今度の演習と共に敗走した獸は非常なものだと溢してゐた■二十日の汗浦川の渡河の壯觀であつた事は前信に書いたが二十一日の拂曉戰にも平壤聯隊の或る一部は南川の川霧を衝つて水中を驅け拔けて突進したが可なり冷めたさうであつた。（南川にて二十一日午後三時發）

うわさ

二十一日三越で開かれた美術協會例會の席上小田幹治郎氏の講演に次いで古城梅溪氏が▲小山君の說の如く今日の支那の祠堂も亦た床なるものが支那の祠堂の一部を成してゐるに徵すも必ず座敷であつて而かも其の首位に神佛の位牌を奉祀する佛壇にはもの…

▲森勝次氏言下に呼…

鑛業界のバチルス（二）

▲惡ブローカーの內幕

ブローカーの役目は＝頗る單純なもの＝惡ブローカーが狙ふのは＝慾の深い素人鑛業家＝手と口先が資本＝棚から牡丹餅

□ブローカーは 元來仲介業である、鑛山發見者と日本家（所謂經營者）とを結び付くるのが其の役目である、恰度花嫁花婿を斡旋する媒酌人のやうなもので、斯して愈々話しが纏まると花嫁ともいふべき資本家も直接、花婿ともいふべき發見者に面談して、委しく鑛山の價格を聽き取る、實地踏査に見込みが付けば茲に始めて所謂契約を締結するといふ順序になるのだ、唯だ嫁花婿の媒酌人が單に結び付けたばかりではいけ…、ソレ夫婦喧嘩だ、ヤレ三行半だといふ場合何處までも責任を以つて

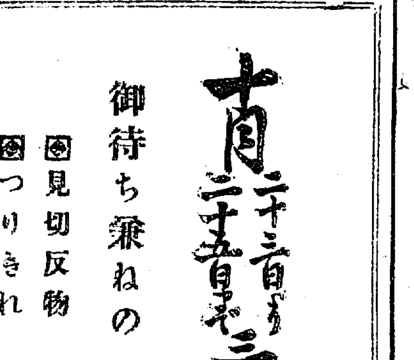
■目鼻が付け ねばならぬけれど鑛山ブローカーに至つては其處まで責任はない、頗る單純なのである。だから少しく經驗のある鑛業家は迂濶に惡ブローカーの口に乘つて損失を招くやうな事は決してない、茲に謂ふ惡ブローカーは又決して經驗のある鑛業家の處へは賴まれても寄付かない、彼等は常に一攫千金を夢みて鵜の目、鷹の目、路傍の牛の糞をダイヤモンドではないかと胸を動悸付かす人鑛業家の手合…

■慾の皮に喰ひ込む ので ある發見者と結托して居る奴も居るが中には自身が發見者とブローカーを兼ねた奴も居る、金を捲き上げる段は千差萬別、其の筋書もいろ／＼あるが巧みに法律の網の目を潜つて居る處は同樣である保險會社の勸誘員や債券屋の外交員などゝ云ふものは口先と風采が唯一の資本である如く此の惡ブローカーなるものも概して口先巧手の紳士然として金指環に金時計といふ如才がない、風采の如きも一見堂々たる姿、斯んな輩が有りつ丈の奸智を絞つて

■棚から牡丹餅 的の旨い處を並べ立てるのだもの、慾に目のない連中は何時とはなしにこの御馳走に飛付いて、知らず識らずの裡に惡ブローカーの術中に陷つて了ふのだ。

水の滴るやうな艶しい美しい黒髪とする

ホーカー美髮液



□御參考□
■髮の色艶をあく迄で美しくする
■いつも艶々しい濡羽色となる
■チヾレ毛クセ毛がなほる
■結らず、いつもサツ／＼として
■フケが出なくなり、逆上をとなし
■毛髮の發育を補け
■拔毛を止め香水代用となる

定價 大三十五錢 小二十錢 送料 內地無料 鮮滿三十錢

全國到る處の小間物化粧品店藥店に販賣す。若し品切の節は十錢切手代用にて御注文下さい

本舖 堀越嘉太郎商店 電話 長一四三・長一四五 東京神田和泉橋 振替東京一二六

十月二十三日より二十五日まで三日間

冬衣大賣出

御待ち兼ねの
◎見切反物
◎つりきれ

御買上げに成る可き最好機會が來ました

京城本町 丸一吳服店

櫻御殿

第四十七回 大阪 霞の家主人

三左衛門の血 (四)

三左衛門は喞嗟と氣色ばむ、その左右から、竹杖が如離々々出る、

『退れ、退れ、退り居れ』

その中の誰であつたか、相手の名は無論知れぬ、竹杖で脾腹を突てる、三左衛門は急所の痛みに思はず背後へたぢ〳〵退る

『退れ〳〵、とつとと退れ』

十本ほどの竹杖が左右から現はれて、三左衛門を棚の外へ押し出した

夕陽はちり〳〵と西へ傾き、何處からとも知らぬ落葉が、無念を堪へる三左衛門の髪へ落ちる

協はぬまでも突き進んで、武士の意地を見せようか、相手は伊奈の關者、奥深く切り入つて、こゝに屑く命を捨てようか、と血氣さながら火の如く燃ゆる下から、『待て、命が重い、死ぬる時でない、權中の一番を何んとする』と心付ける聲がする

『まことに爾うぢや、直々刑部様へお手渡しするようとの御諚を受けながら、今この關所から逃び返される、すれば御親書をお返しせねばならぬ、我等の分際では務り難ねる事情を申述べて、餘人へ仰せ付けらるゝやう御斷りせねばならぬ、死ぬ急ぐ時でない、大津へ歸つて此の場の始末を殘りなく申し上げ、然る上自殺して、君命を辱しめた罪の謝解をするが道ぢや』

三左衛門は突棄の間に斯う發情した、そして當座の恥辱を忍んで何容なく大津へ歸つた

『御前へ申し上げまする』

三左衛門は次の間に平伏した、正則は敷革の上に坐つて、佩刀に油をかけて居た

『三左か、甚う早い』

『殘念でございます』

『何とした』

『殘念でございます』

『殘念とばかりでは分らぬ』と正則はじつと目を付けて『まづ面を擡げへ』

三左衛門は心得て顔を擡げる、士の如くになつた面に殺氣が走つて、今にも血が流れさうになつた眼の中がぎらりと光る、正則はこの様を一目見て、容易ならぬ事件の湧き起つたのを知つた

『刑部に會ふたか』

『會ひませぬ』

『會はぬとや？』正則は反問した

『殘念でございます』

『理を云へ、いざ』

『まづこれを御返し申しまする』と三左衛門は懐中から正則の手紙を出して

三左衛門の聲は物凄いほども沈んで居た

◉慶北水産製品

近一箇年の調査にかゝる甘浦、九龍浦、鬱陵島各港の水産物品移出狀況を見るに甘浦港にありては鯣八百五千五十圓鬱陵島にありては[illegible]不花菜九千六百貫其他煮乾鰮、鯖、鰮、搾粕等にして之が價額九…の輸移出地は甘浦よりは釜山、晴…たる滿鮮、鎭南浦等、九龍浦よりは釜山、浦項及び大阪、九州、元山…下の關又は直接下の關、釜山…先月下旬八幡丸にて五噸分の廻送…しか突然狂ひ出したるより大騷ぎ…し一般産業、水産…弘く一般の出陳…にして…物…

毛皮なめし並に仕立

白獸剝製調進羽根布團製造修理

高價買入 京城本町二丁目

貿易商 樽元商行

電話長二〇六一四九九番

日報俳壇

毛見

毛見が島に渡る日和や鴫鳴く 青鄰

風樹々に靜なる毛見日和哉 同

鶺鴒の嘴に晴れし毛見日和哉 同

毛見の渡頭に迄ふ人數哉 忍堂

毛見衆を迎へる馬が通るなり 井蛙

毛見濟みし安堵の酒煮る夜哉 琉翔

毛見衆の朱鞘に觸る稻穗哉 馬揺

毛見衆の轡執り行く小者哉 愛風

案山子

田の畔に○紅葉して案山子 馬巵

鳴子引けば案山子の笠も動く哉 青翔

花薄夕日淋しき案山子哉 鴻堂

雀馴れて來る案山子の弓の上 忍泉

誰作りて村を似た案山子哉 飛風

おどけたる案山子は里の景色哉 愛風

雨晴れて案山子に燃ゆる夕日哉 蘇風

燈籠

夕闇に高燈籠浮く城下哉 琦好

行路樹に据り付ある燈籠哉 味川

燈籠流しの事記し置く日誌哉 要村

冬の句を募る

十一月十日締切 (毎日の冬夜、冬の篝火、湯婆、寒念佛)

十二月十五日締切 (火鉢、霜、寒さ、鰤、落葉)

▲各題必ず別紙に認め本社へ俳壇係宛寄せられたし 一題十句以内

芭蕉

風が研ぐ芭蕉の音を聴く夜哉

芭蕉照る落合々の焚火哉

月に揺る芭蕉の葉の忌日哉

蟷螂の風に怒れる芭蕉哉

芭蕉帯す庭廣なと掃く哉

蝸牛の危く這へる芭蕉哉

灯を消せば芭蕉が映る障子哉

夜の雨晴れやかな島の芭蕉哉

芭蕉垂るゝ庭を歩く小猫哉

舞姫の袂觸れ行く芭蕉哉

芭蕉伐つて明く成りし書齋哉

新に押れ住める野寺の芭蕉哉

滑な雨戸や芭蕉に風落ちし

鱗雲の空に流るゝ芭蕉かな

風烈しき芭蕉の下葉伐りにけり

無住寺の鐘樓に芭蕉かな

間引菜 (五の日十の日會)

□ 摘菜のこぼれて子供ら雞舍の陽に立てり 田柿

□ 間引菜を抱へ畑一遍見まわし 阿岐良

□ 間引菜ざるに買ひ帶の底の銅貨 華虹

□ 筬きせて間引菜に立つ猫が行く 鳥堂

□ 泗州吟社より

題無花果 月代 花野

無花果の熟し檐のあたりや寺の庭

無花果や由の彼方の濃きみどり

無花果や住家古りたる軒端哉

皮徽科

皮膚病 黴毒 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍

入院隨意(診察夜九時迄)

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元町)

佐藤醫院 (電話一一七三番)

新刊紹介

▲滿鮮評論(一周年記念號) 一周年記念號に題して告白す(大澤多堂)鮮人勞働者の内地移入と其の將來(…)半島の少女間に流行せる風潮(…)(十三錢京城水標町七七九評論社)

▲新美術(一ノ八) 十五錢、東京四谷本村町一九美術社

▲日本の關門(二二) 二十錢、下關東南部町一四千八百號社

▲地方行政(二九ノ一〇) 二十錢、東京々橋加賀町帝國地方行政學會

▲園藝虎之卷(五ノ一〇) 二十錢、東京麻布富士見町四三番地日本社

▲講談倶樂部(一一) 精選せる讀物と完備せる編輯法とに因つて好評を博しつゝあり、東京本郷駒込坂下町四八講談社

▲少女(六ノ五九) 少女の讀者をして…

▲日の丸(二ノ一) 十錢、…

▲子供之友 十三錢、東京雜司ヶ谷婦人之友社

▲新少女(三の一一) 十三錢、…

▲少年倶樂部(四の一二) 少年雜誌として上乘なるもの(十六錢東京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會)

山雀の歩み遲々たり花野哉
月代を羽音靜かに渡る鳥
砂丘のさころ〳〵に花野哉
興味以て近き花野や片時雨
無花果や二階貸間の板廂
金風に車馬いとなく花野哉
匂にして茫年の月佐渡の海
月代や棧橋に船繋りて

▲御日本紙に爾前此町四丁目より櫻井町へ行く道路の小溝に橋梁なき爲吾々困難致し候に付き道路の小溝に橋梁架設本紙掲載被下候様御願申上候際にて先日年…

自動車運轉手

自動車修繕工場
京城府元町三丁目

(自動車學校廣告本文)

私立 京城自動車學校

鼻が高くなる
隆鼻器無料貸與

軍隊毛布

本社が提供せしロシア軍隊防寒用毛布の約束…

東京神田 東京織物仲總店

てんかん

東京 ドラッグ商會

南質店

貝田村質店

專賣特許 船津式繩叺機械

大邱府元町二丁目 東屋商店

特約販賣人募集

化粧品石鹸問屋 ハコ、伊勢勘號

最新刊

大阪屋號

梅毒 麻病 外科

專門 牧醫院

りん病

拙者は かぜの神である。年中あらゆる人間の油斷をのみ覘ふてゐる、而も今は拙者の最も得意の時候だから、ドシ〳〵肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中酷く侮る奴は容赦なく殺して了ふ。然しハカリ印のヘブリン丸は拙者唯一の强敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち撃退されて了ふ。實にハカリ印のヘブリン丸には流石の拙者も兜を脱がざるを得ないのである。

本舗 大阪 合資會社 參天堂藥房

此ハカリ印に御注意なさい

心臟 脚氣 ベーリベチン

東京市日本橋區本町三 星製藥株式會社

ホシコロダイシ

星製藥株式會社

懷中時計

インクレッシー商會

百圓 りん病 帝國醫科大學

にせ物あり

大阪有田ドラッグ商會

城隆之輔 高須德 津村精造

大阪商船出帆

釜山出帆廣告

朝鮮郵船

尼崎汽船出帆

朝日本郵船出帆

共同汽船出帆

金泉自動車發着時刻